LIXIL SHINNIKEI

引戸門扉 施工説明書

施工説明書番号 ME-2185
改－2

●この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●施工にあたっては、錠の施工説明書も合わせて参照してください。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。
お客様相談室
0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ
http://www.lixil.co.jp

施工時の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋込柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。
●風当りの強い場所、崖上、山上、高台、海岸べりには設置しないでください。
●本説明書に記載されている以外の免責事項は、総合カタログをご参照ください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
●無理にボルト・ビスを締め付けないでください。破損の原因となります。
●施工完了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

引戸錠 HA 型の施工説明書 [ME-1746] を合わせて参照してください。

※この説明書内のイラストは、「右引き（道路側より見て）」・「外観図」で示しています。（「内観図」と指示のある場合を除きます。）
※「左引き（道路側より見て）」の場合は、左右対称に施工してください。

もくじ

梱包明細 2
勝手の確認 2
納まり図 3
片引き 3
片引き 機能門柱付き 4
両引き 5
開き戸付き 6
引き違い 7
引き違い 隙間塞ぎパネル付き 8
1. 柱部品の取付け 9
１－１ガイド柱部品の取付け 9
１－２戸当り柱部品の取付け（※片引き・引き違いの場合） 9
１－３吊元柱部品の取付け（※開き戸付きの場合） 9
１－４門柱連結部品の取付け（※片引き 機能門柱付きの場合） 10
2. 柱の設置位置の確認 11
２－１片引きの場合 11
２－２片引き 機能門柱付きの場合 11
２－３両引きの場合 12
２－４開き戸付きの場合 12
２－５引き違いの場合 13
２－６引き違い 隙間隠しパネル付の場合 13
3. 柱・レールの設置 14
３－１レールの連結 14
３－２レールアンカー・ ガイド柱用固定板の取付け 14
３－３レールの取付け 15
３－４柱・レールの埋込み 16
4. 引戸部品の取付け 17
４－１落し錠の取付け（※両引き・開き戸付きの場合） 17
４－２縦框キャップ（下部）の取付け 17
４－３戸車・孔フサギカバーの取付け 17
４－４抜け止めストッパーの取付け 17
5. 引戸・開き戸の設置 18
５－１引戸の設置 18
５－２開き戸の設置（※開き戸付きの場合） 18
6. 引戸取付後の作業と調整 19
６－１戸当り・錠受けの取付け 19
６－２錠の取付け 19
６－３ガイドローラーの調整 20
６－４自走防止金具の取付け 20
６－５戸車と扉浮き止めストッパーの調整 20
６－６落し受けツボの埋込み（※両引き・開き戸付きの場合） 20
施工工事店様、販売店様へのお願い 20

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。
●錠・オプションは、別途施工説明書を確認してください。

梱包名称		梱包内容　※表内の（　）は個数を表しています。	備考
引戸		引戸本体（1）・縦框キャップセット（1）・落し棒取付孔フサギカバーセット（1）	両引き・引き違いの場合 2 セット
開き戸		開き戸本体（1）・縦框キャップセット（1）・落し受け壺※1（1）	開き戸付きの場合のみ
戸車		戸車（2）・ボルトセット（1）・抜け止めストッパーセット（1）・自走防止部品セット（1）	両引き・引き違いの場合、2 セット
門柱	片引き	戸当り柱（1）・ガイド柱（1）・ガイドローラーセット（1） 施工説明書［ME-2185］※2（1）・取扱説明書［MET-1073］※2（1）	
	両引き	ガイド柱（2）・ガイドローラーセット（1）・施工説明書［ME-2185］※2（1） 取扱説明書［MET-1073］※2（1）	
	引き違い	戸当り柱（2）・引き違い用ガイド柱（1）・ガイドローラーセット（1） 施工説明書［ME-2185］※2（1）・取扱説明書［MET-1073］※2（1）	
	開き戸付き	吊元柱（1）・ガイド柱（1）・ガイドローラーセット（1）・ヒンジセット（1） 施工説明書［ME-2185］※2（1）・取扱説明書［MET-1073］※2（1）	
戸当り	片引き／引き違い	戸当り（1）・部品セット（1）	引き違いの場合、2 セット
	両引き	戸当り（1）・部品セット（1）・落し錠セット（1）	
	開き戸付き	戸当り（1）・部品セット（1）・落し錠セット（1）	
ステンレスレール	本体巾：15 ～ 17	レール［L=2750］（1）	両引き・引き違いの場合、2 セット
	本体巾：20 ～ 22	レール［L=1875］（2）	
	本体巾：24 ～ 26	レール［L=2375］（2）	
	本体巾：27 ～ 30	レール［L=2675］（2）	
	本体巾：33 ～ 36	レール［L=3175］（2）	

※ 1　落し受け壺は、下記セット部品の「縦框キャップセット　開き戸用」に同梱されています。
※ 2　施工説明書・取扱説明書は、下記セット部品の「ガイドローラーセット」に同梱されています。

●セット部品明細

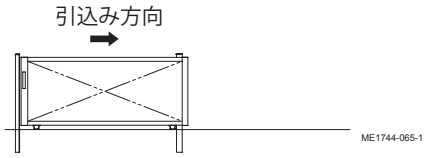
梱包名称		梱包内容　※表内の（　）は個数を表しています。
縦框キャップセット	引戸用	縦框キャップ（2）・セムスビス（2）・施工説明書［ME-2151］（1）
	開き戸用	縦框キャップ（2）・セムスビス（2）・落し受け壺［梱包明細と同一品］（1）・施工説明書［ME-2151］（1）
落し棒取付孔フサギカバーセット		落し棒取付孔フサギカバー（1）・φ 5 × 12 トラスタッピン 3 種（2）
ボルトセット		M8 × 30 六角ボルト（2）・M8 用バネ座金（2）
自走防止部品セット		自走防止部品（1）・φ 4 × 13 セルフドリリングビス（2）
抜け止めストッパーセット		抜け止めストッパー（1）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（2）
ガイドローラーセット	片引き	戸当り柱キャップ（1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 1 種（2）・ガイド（1）・φ 4 × 30 ナベタッピン 2 種ガイド付ネジ（4） 戸当り柱アンカー（1）・φ 4 × 13 セルフドリリングビス（1）・アンカー棒（1）・戸当り柱用レール固定板（1） ガイド柱用レール固定板（1）・φ 4 × 16 トラスタッピン 3 種（4）・扉浮き止めストッパー（2）・レールアンカー（3） レールジョイント金具（1）・M4 × 10 トラス小ネジ（4）
	両引き	ガイド（2）・φ 4 × 30 ナベタッピン 2 種ガイド付ネジ（8）・アンカー棒（2）・ガイド柱用レール固定板（1） φ 4 × 16 トラスタッピン 3 種（4）・扉浮き止めストッパー（4）・レールアンカー（8）・レールジョイント金具（2）・M4 × 10 トラス小ネジ（8）
	引き違い	戸当り柱キャップ（2）・φ 4 × 12 トラスタッピン 1 種（4）・引き違い用ガイド（1）・φ 4 × 30 ナベタッピン 2 種ガイド付ネジ（4） 戸当り柱アンカー（2）・φ 4 × 13 セルフドリリングビス（2）・アンカー棒（1）・戸当り柱用レール固定板（2） 引き違いガイド柱用レール固定ブラケット（1）・φ 4 × 16 トラスタッピン 3 種（6）・扉浮き止めストッパー（4） レールアンカー（2）・引き違い用レール固定ブラケット（2）・レールジョイント金具（2）・M4 × 10 トラス小ネジ（8）
	開き戸付き	ガイド（1）・φ 4 × 30 ナベタッピン 2 種ガイド付ネジ（4）・アンカー棒（1）・ガイド柱用レール固定板（1） φ 4 × 16 トラスタッピン 3 種（2）・扉浮き止めストッパー（2）・レールアンカー（4）・レールジョイント金具（1）・M4 × 10 トラス小ネジ（4）
ヒンジセット		100 角形材門扉調整ヒンジ上（1）・100 角形材門扉調整ヒンジ下（1）・施工説明書［ME-2135］（1）
戸当り部品セット	片引き／両引き／引き違い	戸当り固定裏板（6）・M4 × 8 トラス小ネジ（6）
	開き戸用	戸当り固定裏板（7）・M4 × 8 トラス小ネジ（7）・φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス（1）
落し錠セット		落し錠本体（1）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（4）・落し錠ガイド（1）・落し受け壺（1）・施工説明書［ME-1156］

勝手の確認

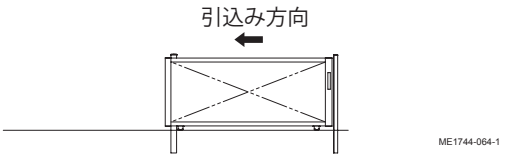
●施工前に確認してください。
●本説明書では、引戸の勝手を下記の通り示しています。

道路側より見て
・「右側」へ引き込む → 「右引き」
・「左側」へ引き込む → 「左引き」

右引き



左引き



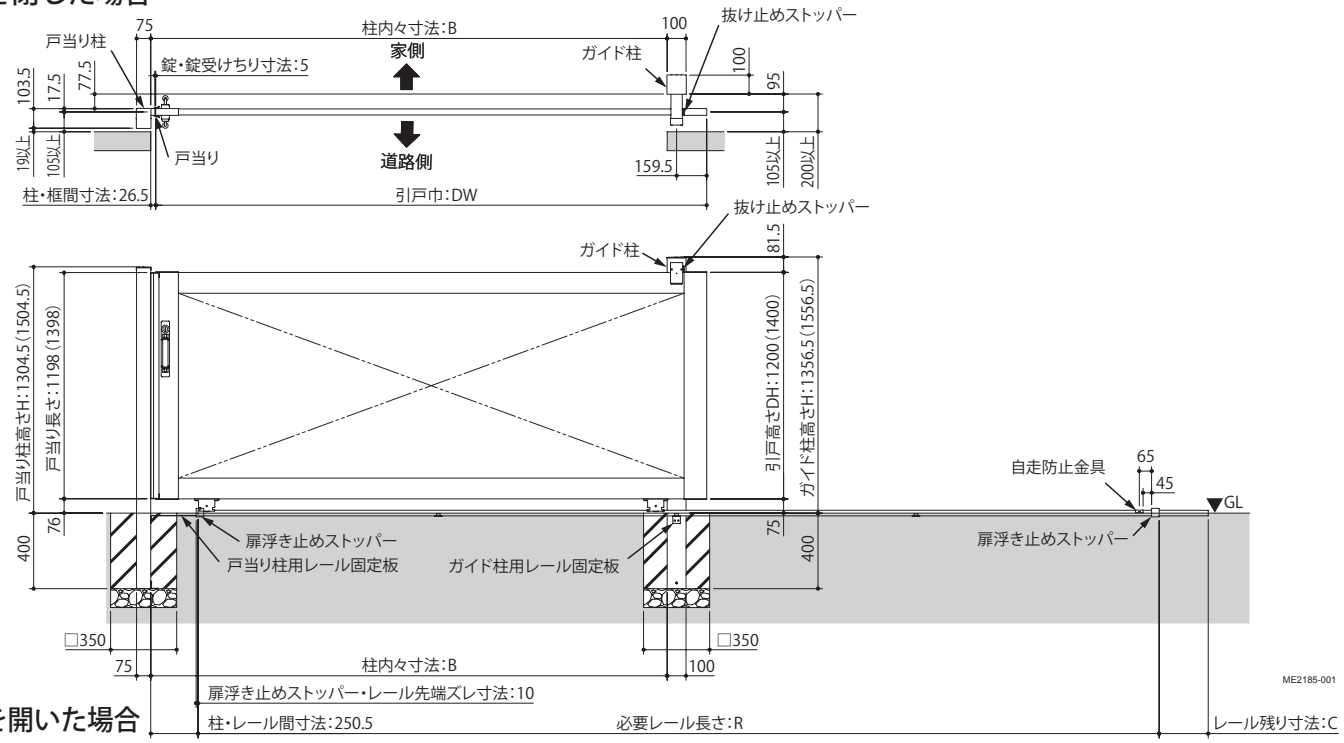
納まり図

●施工前に必ず確認してください。
●本図は、「右引き（道路側より見て）」・「外観図」です。

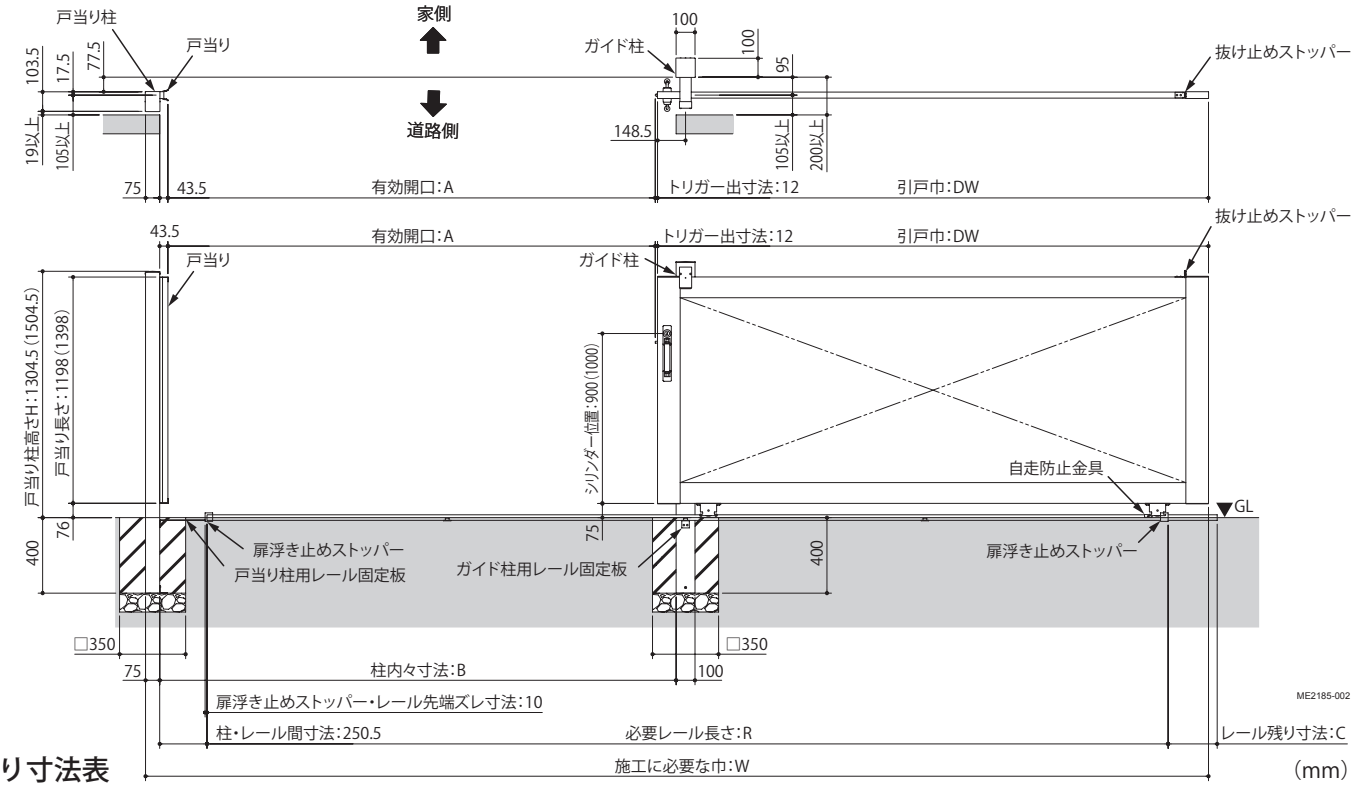
片引き

※本図は、DW=2918・H=1200 の外観図です。
※（　）内は、H=1400 の場合を示しています。

●引戸を閉じた場合



●引戸を開いた場合



●納まり寸法表

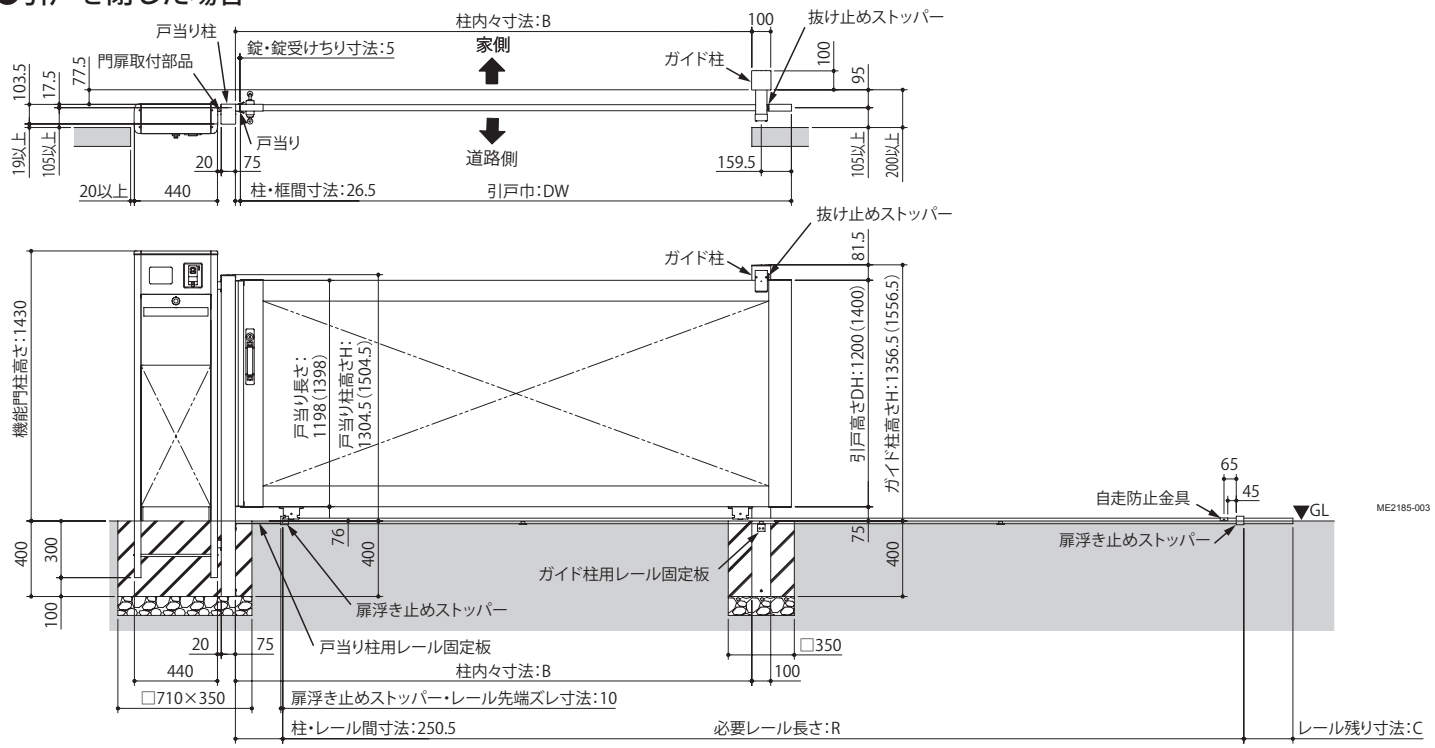
（mm）

DW：引戸巾	W：施工に必要な巾	A：有効開口	B：柱内々寸法	R：必要レール長さ	L：レール組み合わせ長さ	C：レール残り寸法
	DW × 2-206.5	DW-337	DW-183	DW × 2-746		L-R
1500	2793.5	1163	1317	2254	2750	496
2009	3811.5	1672	1826	3272	1875 × 2=3750	478
2409	4611.5	2072	2226	4072	2375 × 2=4750	678
2918	5629.5	2581	2735	5090	2675 × 2=5350	260
3518	6829.5	3181	3335	6290	3175 × 2=6350	60

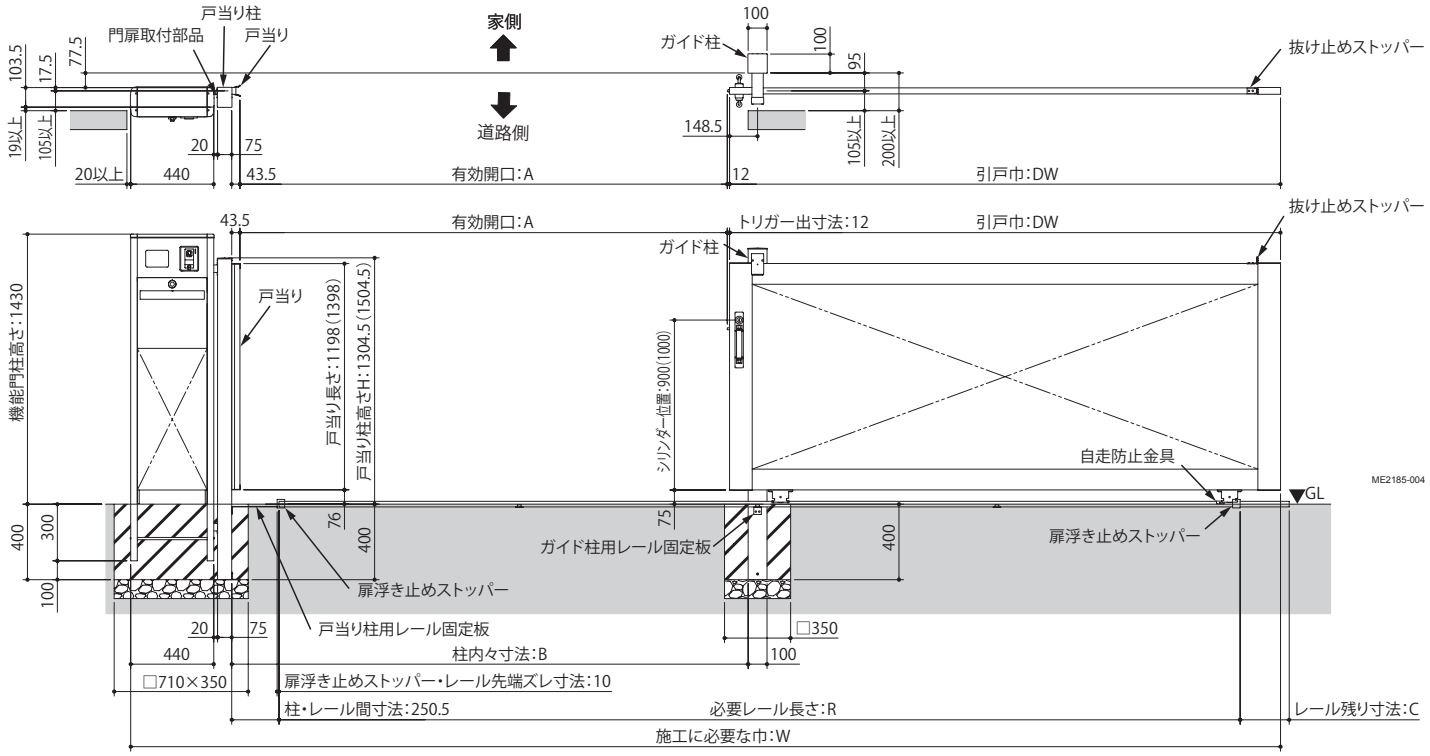
片引き 機能門柱付き

※本図は、DW=2918・H=1200 の外観図です。
※（　）内は、H=1400 の場合を示しています。
※「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型」との組み合わせになります。

●引戸を閉じた場合



●引戸を開いた場合



●納まり寸法表

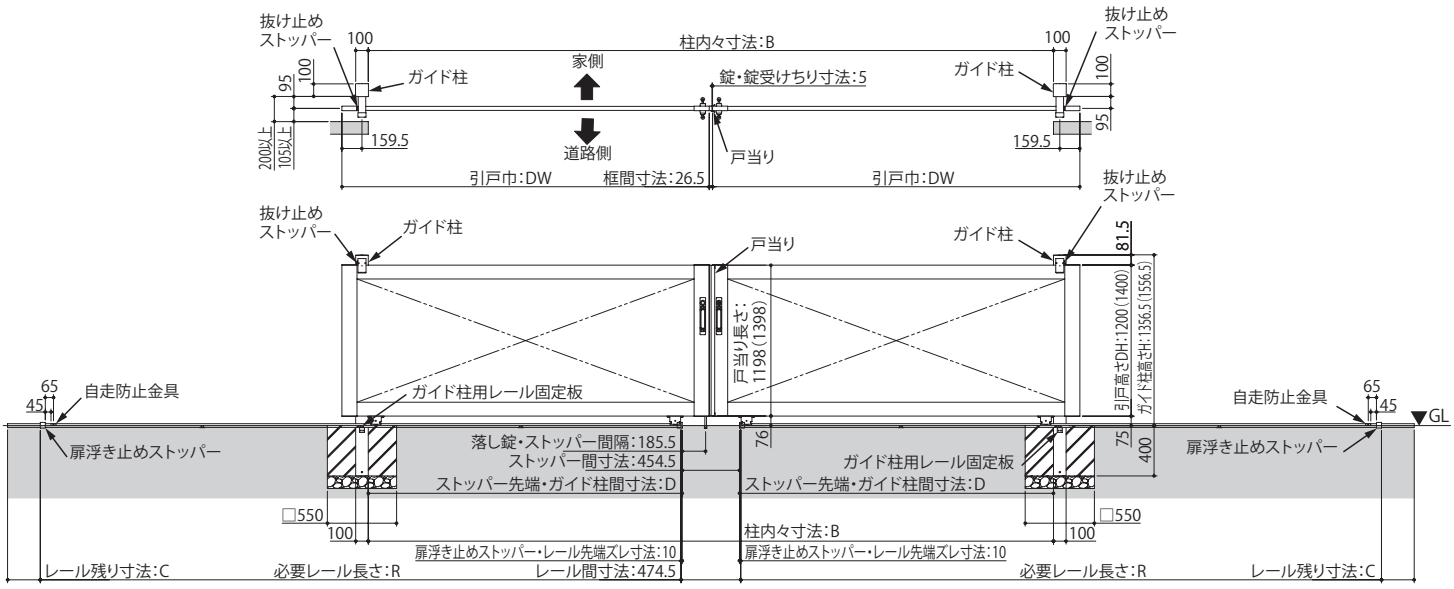
（mm）

DW：引戸巾	W：施工に必要な巾	A：有効開口	B：柱内々寸法	R：必要レール長さ	L：レール組み合わせ長さ	C：レール残り寸法
	DW × 2+253.5	DW-337	DW-183	DW × 2-746		L-R
1500	3253.5	1163	1317	2254	2750	496
2009	4271.5	1672	1826	3272	1875 × 2=3750	478
2409	5071.5	2072	2226	4072	2375 × 2=4750	678
2918	6089.5	2581	2735	5090	2675 × 2=5350	260
3518	7289.5	3181	3335	6290	3175 × 2=6350	60

両引き

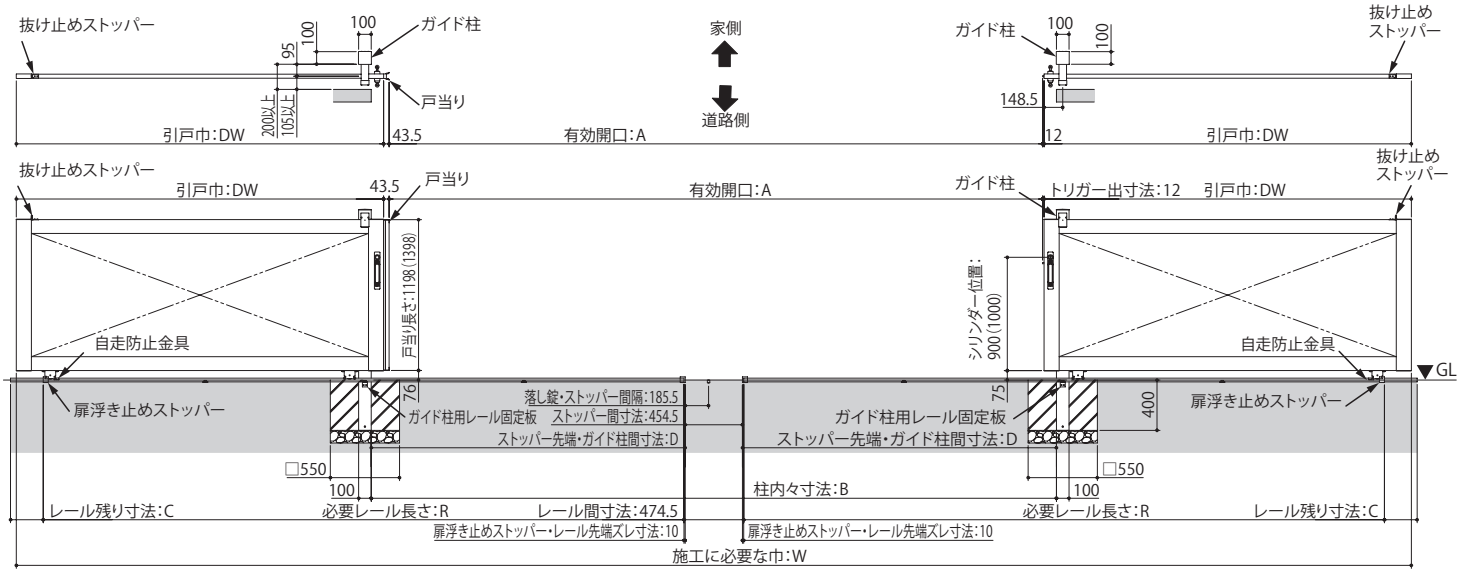
※本図は、DW=2918・H=1200 の外観図です。
※（　）内は、H=1400 の場合を示しています。

●引戸を閉じた場合



ME2185-005

●引戸を開いた場合



ME2185-006

●納まり寸法表

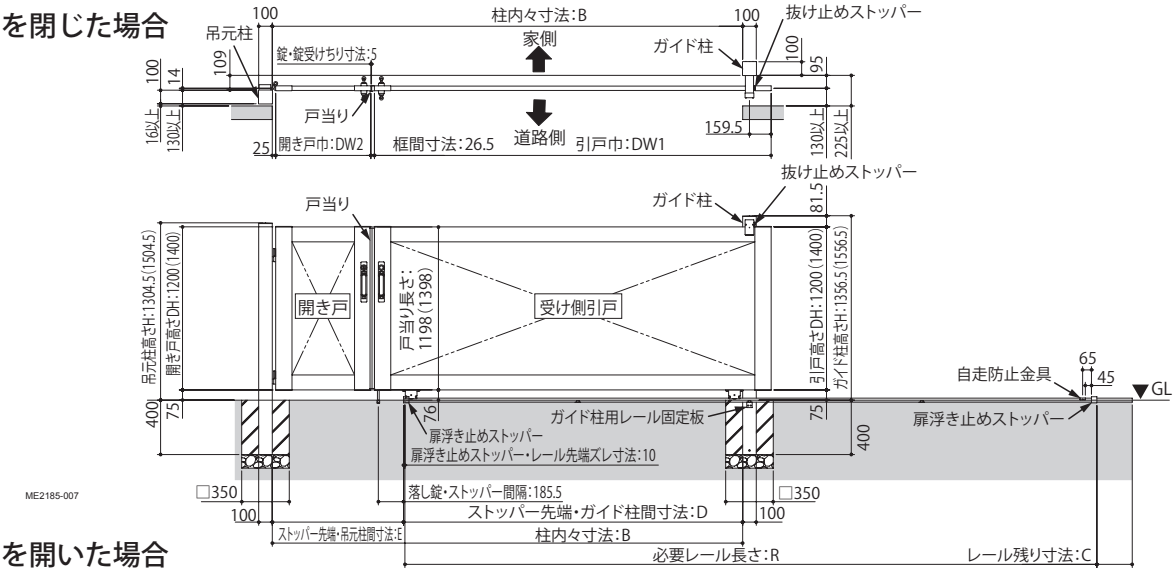
（mm）

DW × 2：引戸巾× 2	W: 施工に必要な巾	A: 有効開口	B: 柱内々寸法	R: 必要レール長さ	L: レール組み合わせ長さ	C: レール残り寸法	D: ストッパー先端ガイド柱間寸法
	DW × 4 -589.5	DW × 2 -645	DW × 2 -392.5	DW × 2 -746		L-R	DW - 423.5
1500 × 2	5410.5	2355	2607.5	2254	2750	496	1076.5
2009 × 2	7446.5	3373	3625.5	3272	1875 × 2=3750	478	1585.5
2409 × 2	9046.5	4173	4425.5	4072	2375 × 2=4750	678	1985.5
2918 × 2	11082.5	5191	5443.5	5090	2675 × 2=5350	260	2494.5
3518 × 2	13482.5	6391	6643.5	6290	3175 × 2=6350	60	3094.5

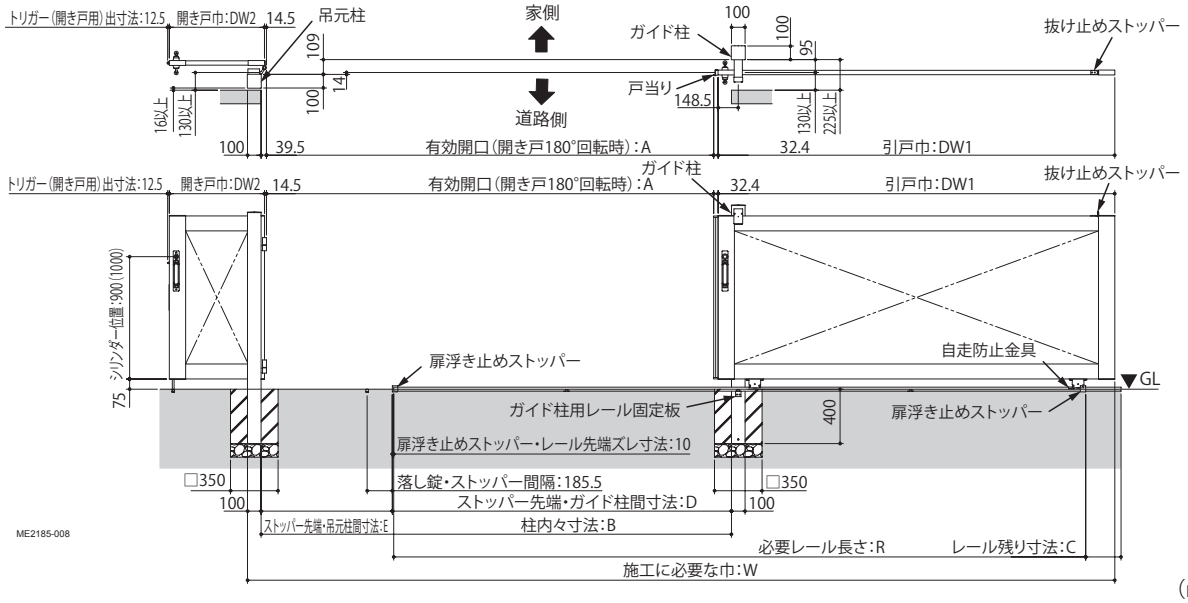
開き戸付き

※本図は、DW1=2918・DW2=700・H=1200 の外観図です。
※（　）内は、H=1400 の場合を示しています。

●引戸・開き戸を閉じた場合



●引戸・開き戸を開いた場合



●納まり寸法表

（mm）

DW2：開き戸巾	DW1：引戸巾	W：施工に必要な巾（開き戸 90°時）	W：施工に必要な巾（開き戸 180°時）	A：有効開口（開き戸 90°時）	A：有効開口（開き戸 180°時）	B：柱内々寸法	R：必要レール長さ
		DW1 × 2+DW2-156.5	DW1 × 2 + DW2 × 2 − 269	DW1 + DW2 − 328.4	DW1+DW2-328.4	DW1+DW2-158	DW × 2-746
700	1500	3543.5	4131	1764.6	1871.6	2042	2254
	2009	4561.5	5149	2273.6	2380.6	2551	3272
	2409	5361.5	5949	2673.6	2780.6	2951	4072
	2918	6379.5	6967	3182.6	3289.6	3460	5090
	3518	7579.5	8167	3782.6	3889.6	4060	6290
800	1500	3643.5	4331	1864.6	1971.6	2142	2254
	2009	4661.5	5349	2373.6	2480.6	2651	3272
	2409	5461.5	6149	2773.6	2880.6	3051	4072
	2918	6479.5	7167	3282.6	3389.6	3560	5090
	3518	7679.5	8367	3882.6	3989.6	4160	6290

（mm）

DW1：引戸巾	L：レール組み合わせ長さ	C：レール残り寸法
		L-R
1500	2750	1250
2009	1875 × 2=3750	1741
2409	2375 × 2=4750	2341
2918	2675 × 2=5350	2432
3518	3175 × 2=6350	2832

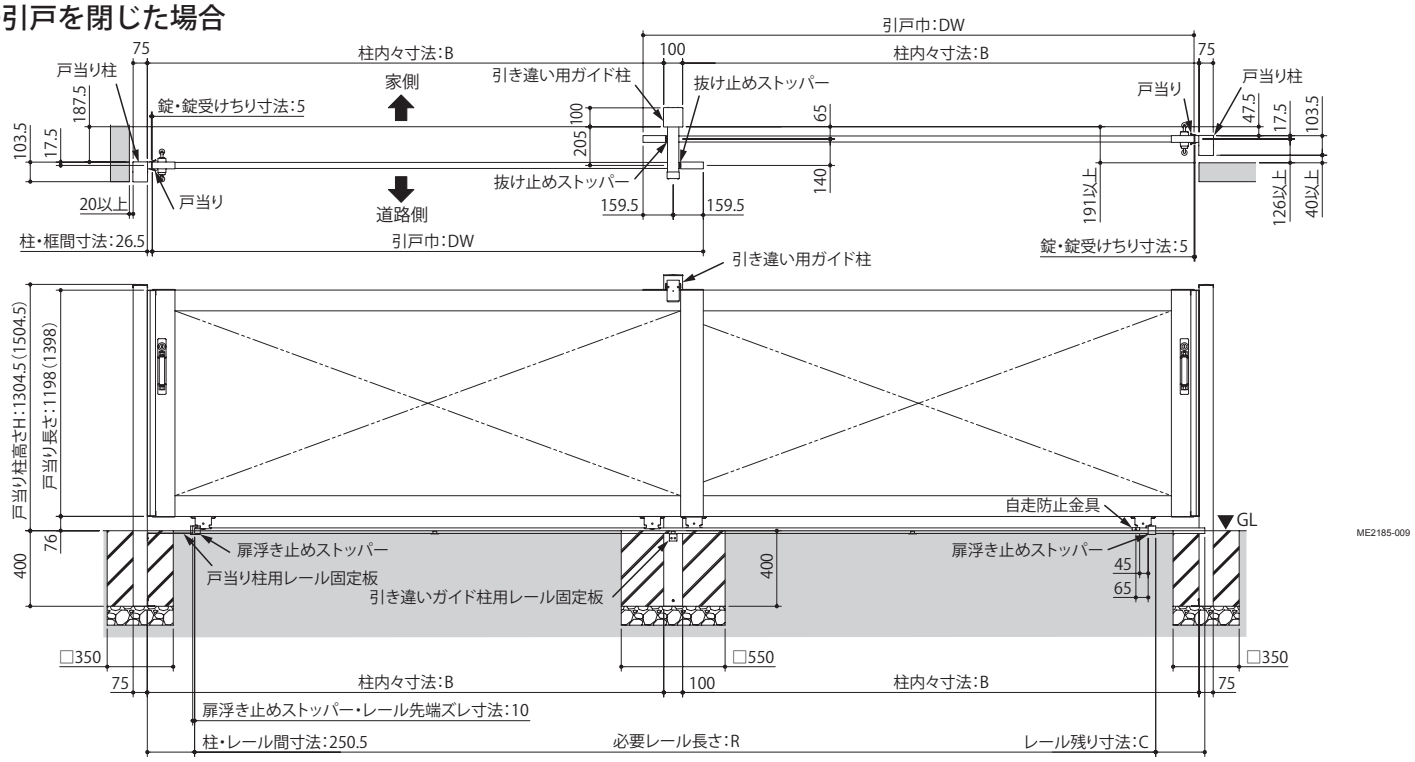
（mm）

DW2：開き戸巾	E：ストッパー先端吊元柱間寸法
	DW2+265.5
700	965.5
800	1065.5

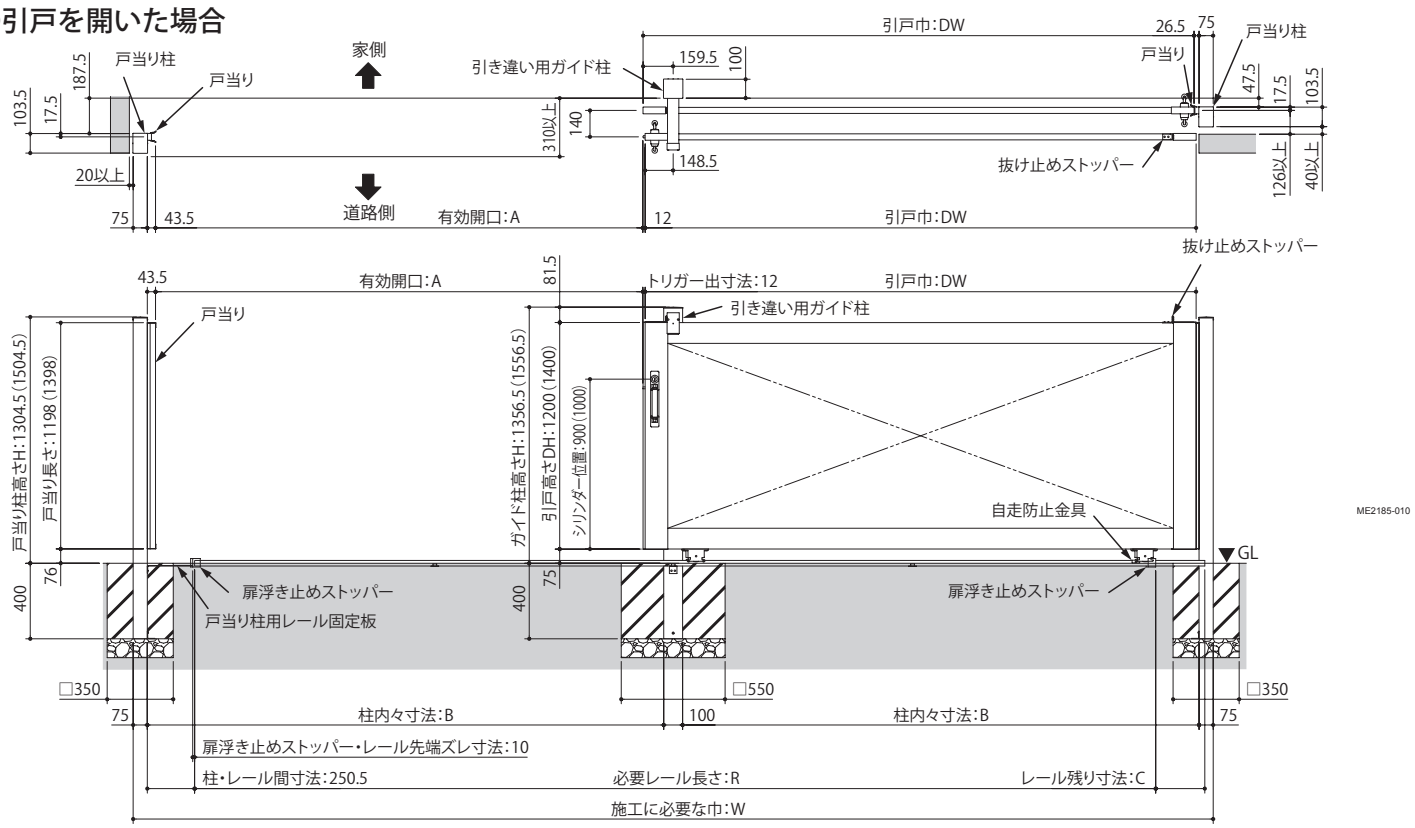
引き違い

※本図は、DW=2918・H=1200 の外観図です。
※（　）内は、H=1400 の場合を示しています。

●引戸を閉じた場合



●引戸を開いた場合



●納まり寸法表

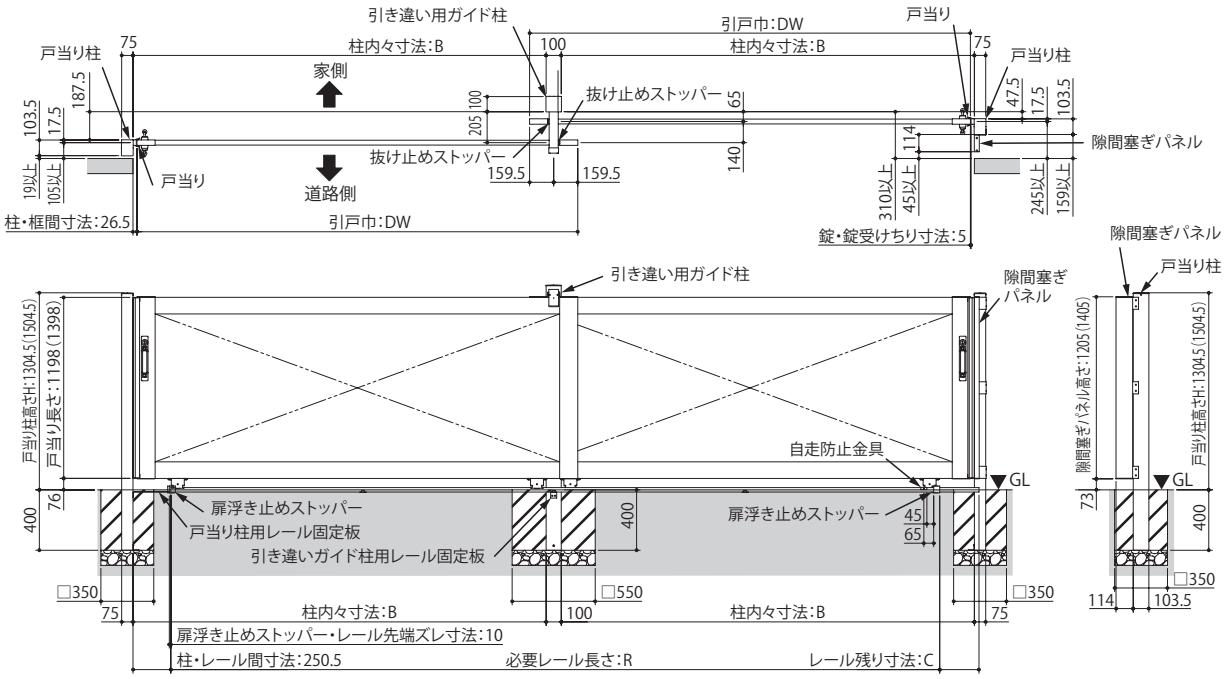
（mm）

DW × 2： 引戸巾× 2	W： 施工に必要な巾	A： 有効開口	B： 柱内々寸法	R： 必要レール長さ	L： レール組み 合わせ長さ	C： レール残り寸法
	DW × 2-116	DW-337	DW-183	DW × 2-746		L-R
1500 × 2	2884	1163	1317	2254	2750	496
2009 × 2	3902	1672	1826	3272	1875 × 2=3750	478
2409 × 2	4702	2072	2226	4072	2375 × 2=4750	678
2918 × 2	5720	2581	2735	5090	2675 × 2=5350	260
3518 × 2	6920	3181	3335	6290	3175 × 2=6350	60

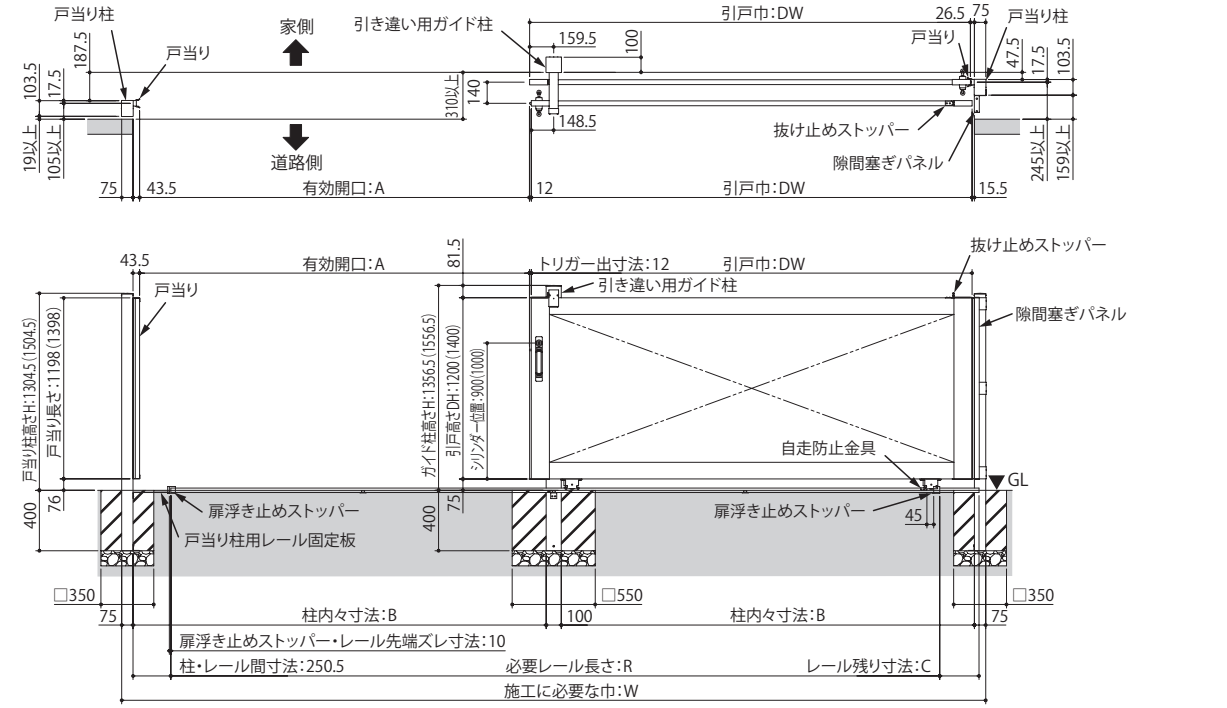
引き違い 隙間塞ぎパネル付き

※本図は、DW=2918・H=1200 の外観図です。
※（　）内は、H=1400 の場合を示しています。

●引戸を閉じた場合



●引戸を開いた場合



●納まり寸法表

（mm）

DW × 2： 引戸巾× 2	W： 施工に必要な巾	A： 有効開口	B： 柱内々寸法	R： 必要レール長さ	L： レール組み 合わせ長さ	C： レール残り寸法
	DW × 2-116	DW-337	DW-183	DW × 2-746		L-R
1500 × 2	2884	1163	1317	2254	2 750	496
2009 × 2	3902	1672	1826	3272	1875 × 2=3750	478
2409 × 2	4702	2072	2226	4072	2375 × 2=4750	678
2918 × 2	5720	2581	2735	5090	2675 × 2=5350	260
3518 × 2	6920	3181	3335	6290	3175 × 2=6350	60

1 柱部品の取付け

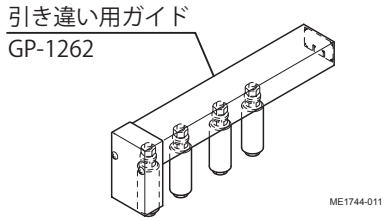
●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

1－1 ガイド柱部品の取付け

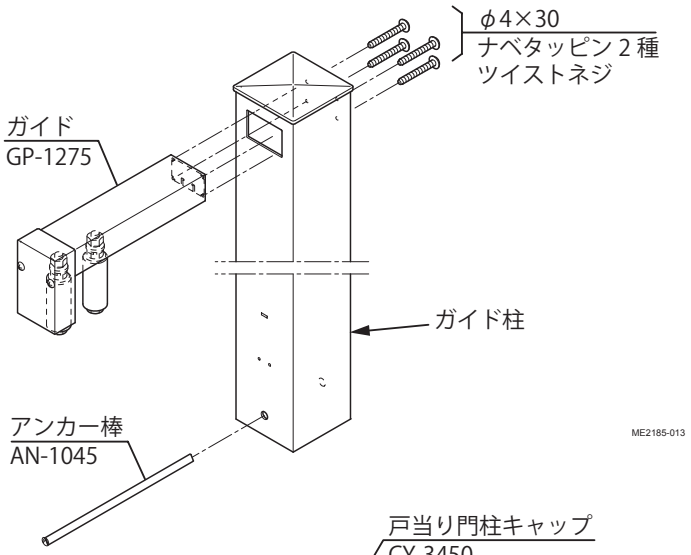
①ガイドをガイド柱に取付けてください。

引き違いの場合には、引き違い用ガイドを取付けてください。

●引き違い用ガイド



②アンカー棒をガイド柱下部に差し込んでください。

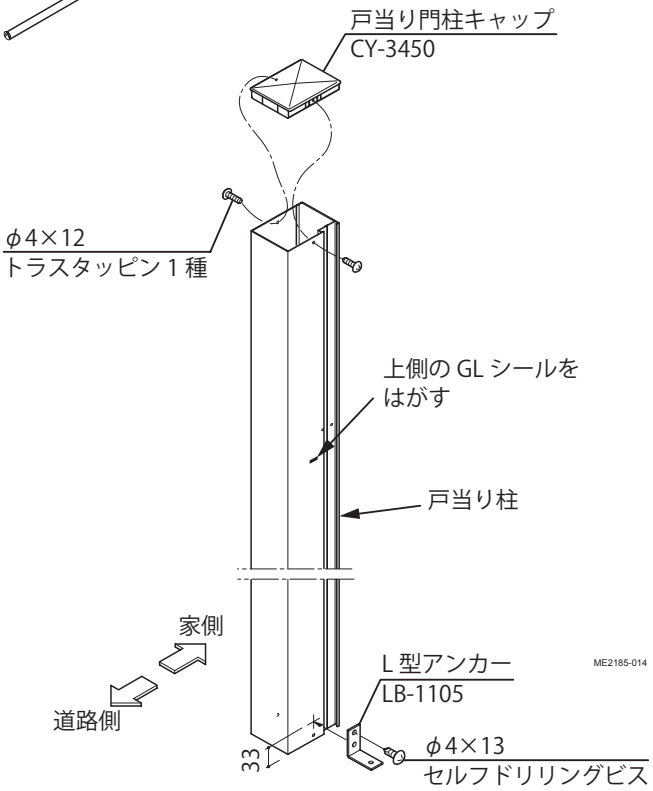


1－2 戸当り柱部品の取付け

（※片引き・引き違いの場合）

戸当り柱には上下がありません。引戸の勝手に合わせて上下を反転してください。

①戸当り門柱キャップを戸当り柱に取付けてください。
② L 型アンカーを戸当り柱に取付けてください。
③埋め込まない側の GL シール（上端より 400 ㎜の位置にある）をはがしてください。

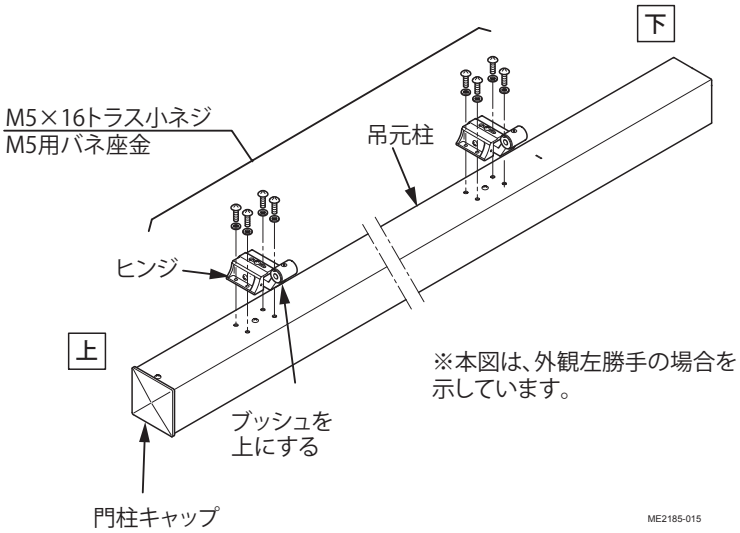


1－3 吊元柱部品の取付け

（※開き戸付きの場合）

①吊元柱と同梱の「ヒンジセット」内の施工説明書 [ME-2135] を参照して、門柱キャップ・ヒンジを吊元柱に取付けてください。

参照説明書
・「形材門扉ヒンジセット・戸当り部材セット」施工説明書 [ME-2135]



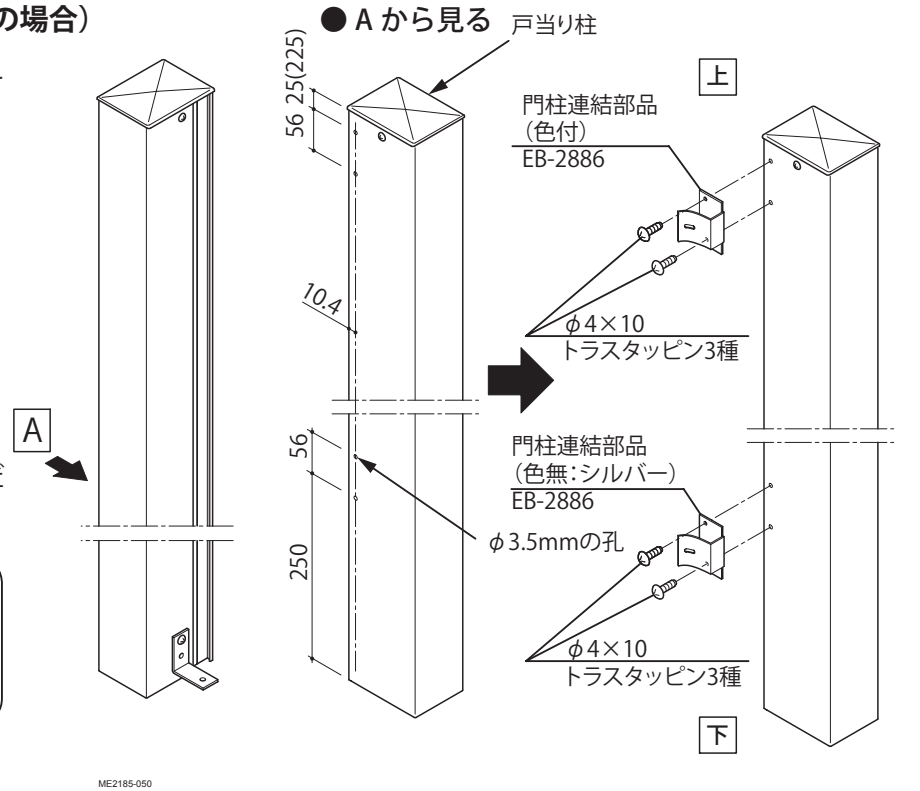
1 − 4 門柱連結部品の取付け
（※片引き 機能門柱付きの場合）

※（　）内は、H=1400 の場合を示しています。

①戸当り柱にφ 3.5 ㎜の孔を 4 ヶ所あけてください。

②門柱連結部品を戸当り柱に取付けてください。

門柱連結部品には「色付」・「色無」があります。
・門柱上側：色付
・門柱下側：色無（シルバー）

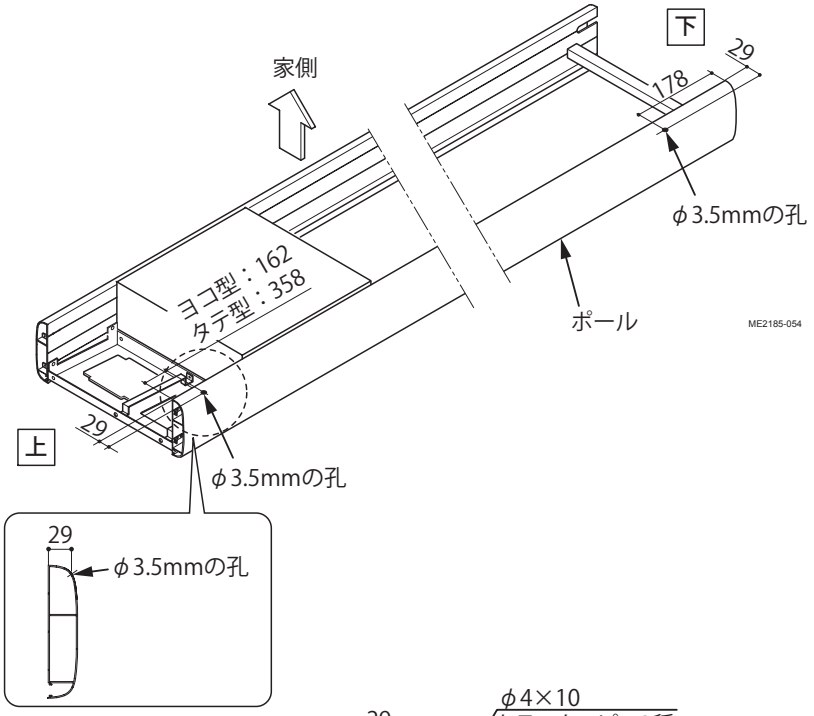


③ポールの門柱と連結する側にφ 3.5mm の孔を 2 ヶ所あけてください。

門柱を取付ける側を確認してから孔をあけてください。

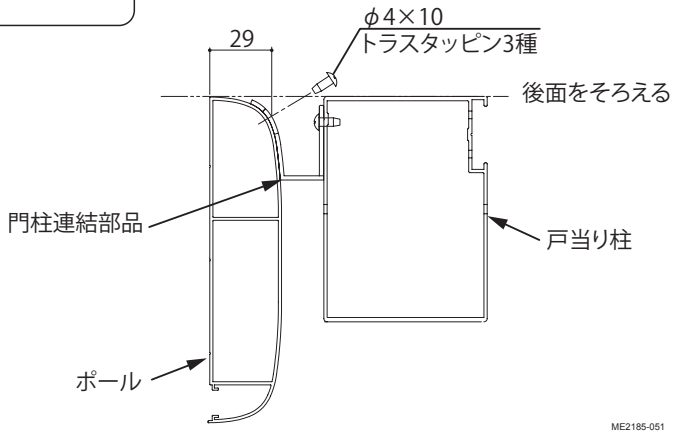
ポールはアール形状です。門柱連結部品をあてて、現物合わせで孔位置を決めてください。

参照説明書
・「シテラ機能ポールカスタムヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123]



④ポールを門柱連結部品に取付けてください。

門柱とポールの後面をそろえてください。



2 柱の設置位置の確認

●「納まり図」で巾および高さ寸法を確認してください。
●(　)内は、H=1400 の場合を示しています。
●柱のレベルを正確に合わせてください。
●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

●「納まり図」と「納まり寸法表」を参照し、柱の設置位置を確認してください。

●本章では柱の設置位置を確認してください。
●柱の埋込みは、後工程の「3-4. 柱・レールの埋込み」でレールと同時に行います。
● GL 表示スタンプを目安に埋込んでください。（埋込み寸法＝ 400mm）

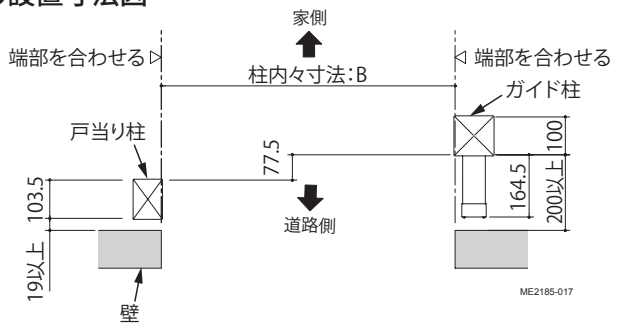
柱の埋込み時には、寸法を正確に合わせてください。
※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。
※壁との取合いが正確でないと、ハンドルと干渉するなど、開閉操作に支障がでる恐れがあります。

2－1 片引きの場合

（mm）

DW：引戸巾	B: 柱内々寸法
1500	1317
2009	1826
2409	2226
2918	2735
3518	3335

●設置寸法図

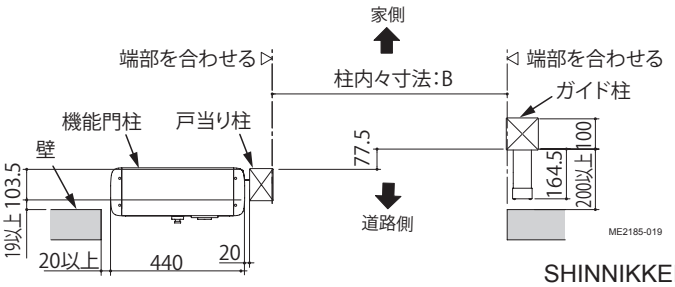


2－2 片引き 機能門柱付きの場合

（mm）

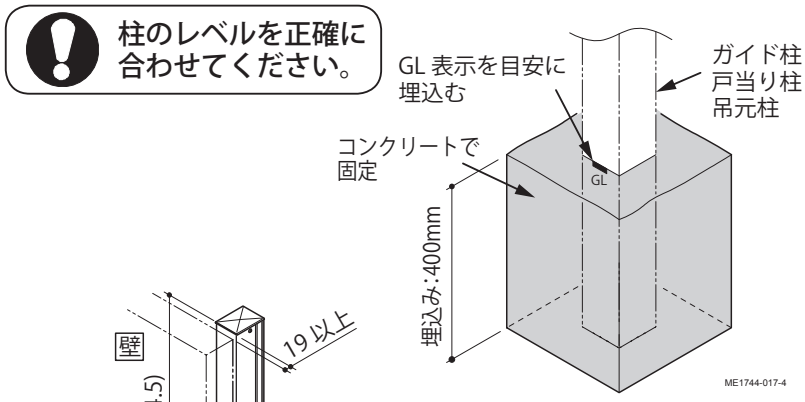
DW: 引戸巾	B: 柱内々寸法
1500	1317
2009	1826
2409	2226
2918	2735
3518	3335

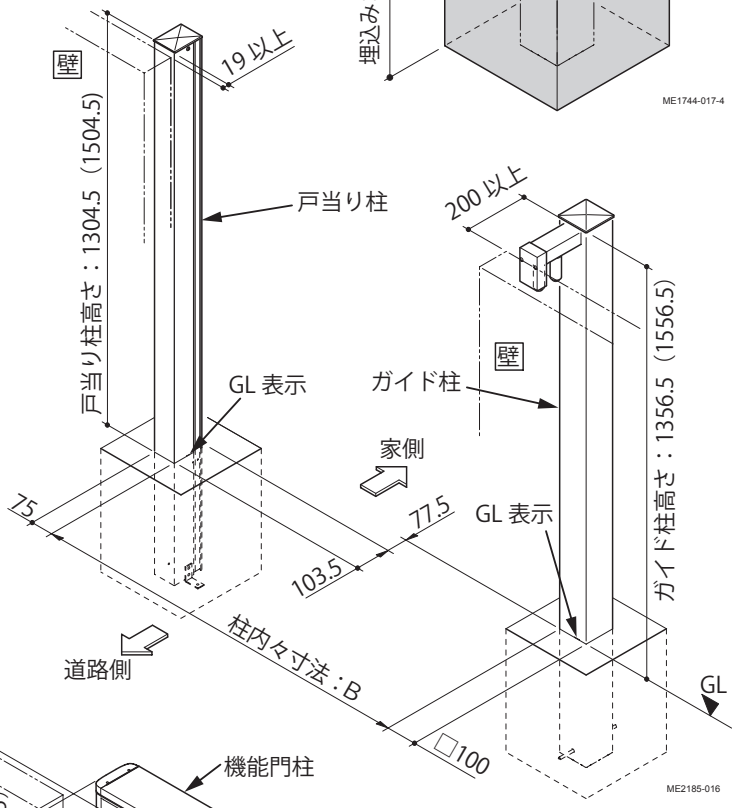
●設置寸法図

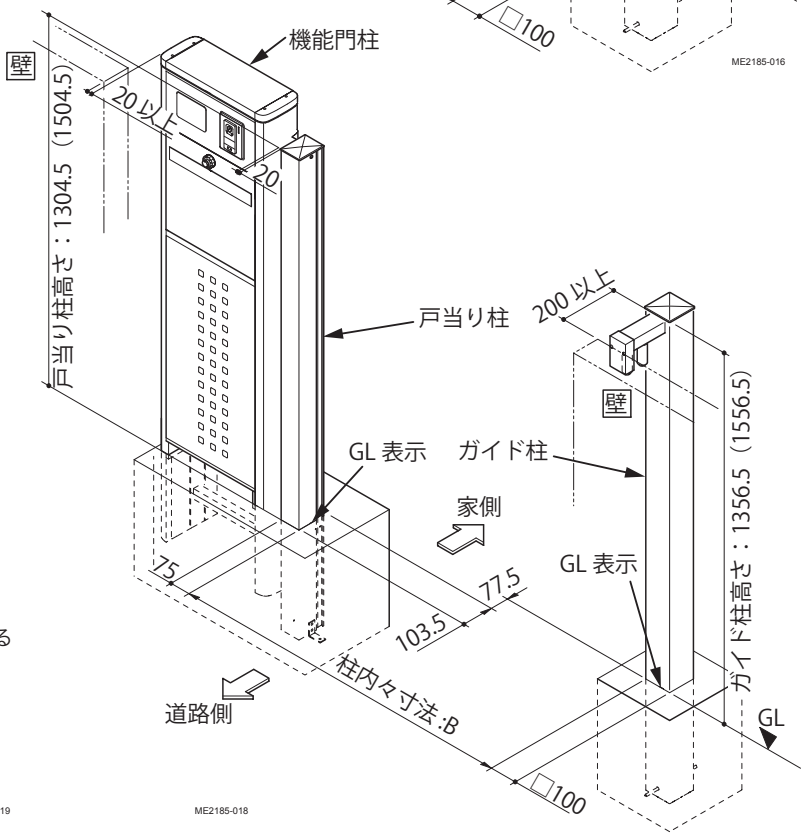


●柱の設置

柱のレベルを正確に合わせてください。





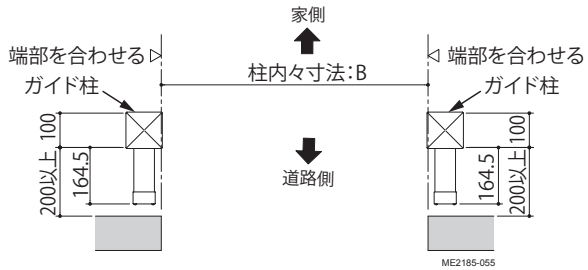


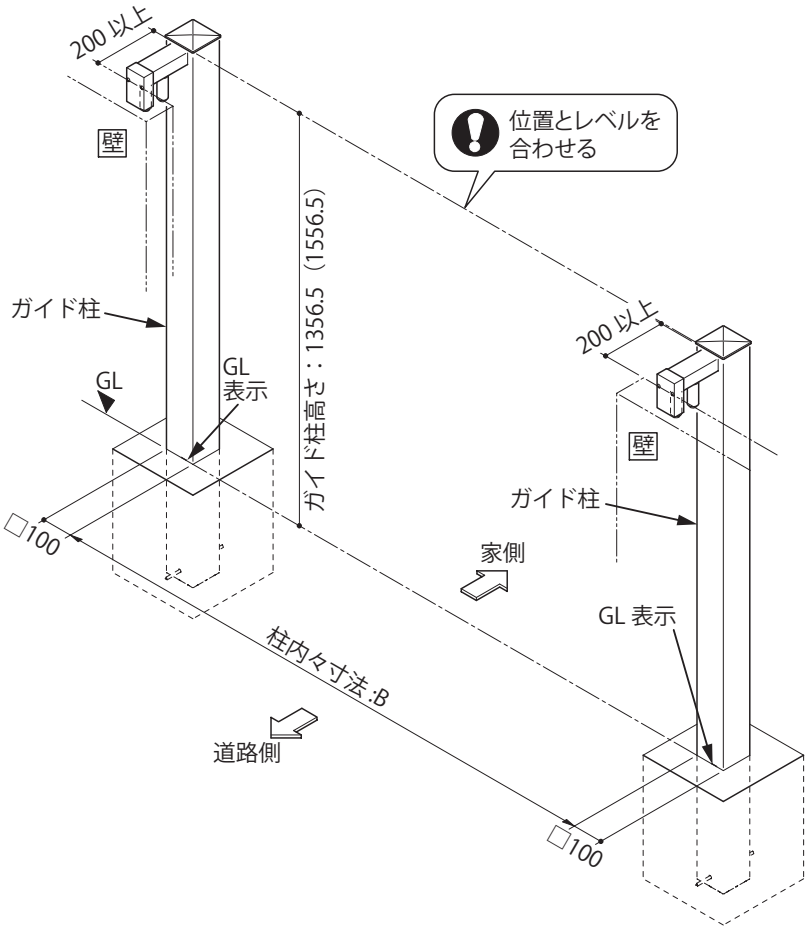
2－3 両引きの場合

（mm）

DW: 引戸巾	B: 柱内々寸法
1500	2607.5
2009	3625.5
2409	4425.5
2918	5443.5
3518	6643.5

●設置寸法図



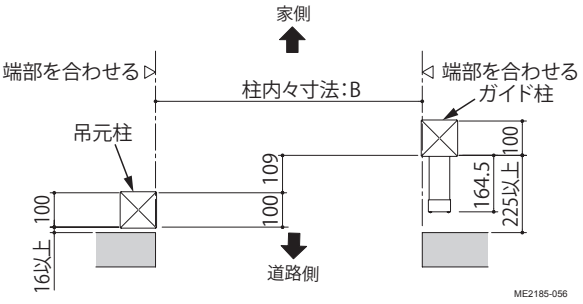


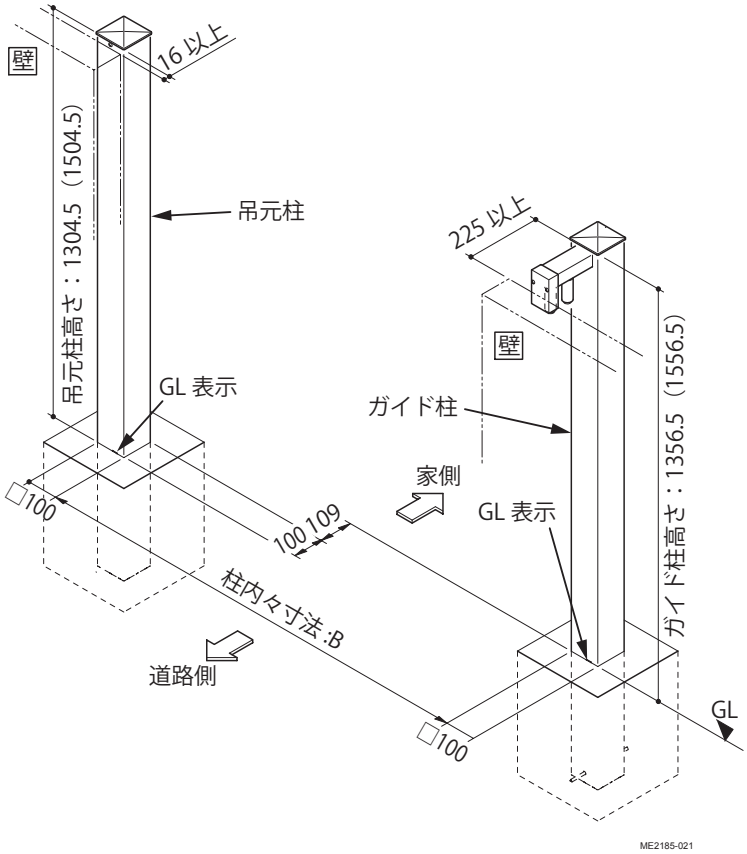
2－4 開き戸付きの場合

（mm）

DW2: 開き戸巾	DW1: 引戸巾	B: 柱内々寸法
700	1500	2042
	2009	2551
	2409	2951
	2918	3460
	3518	4060
800	1500	2142
	2009	2651
	2409	3051
	2918	3560
	3518	4160

●設置寸法図



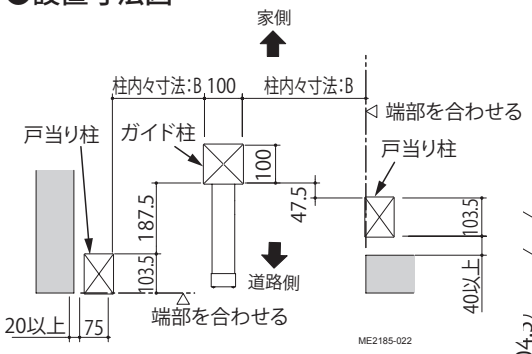


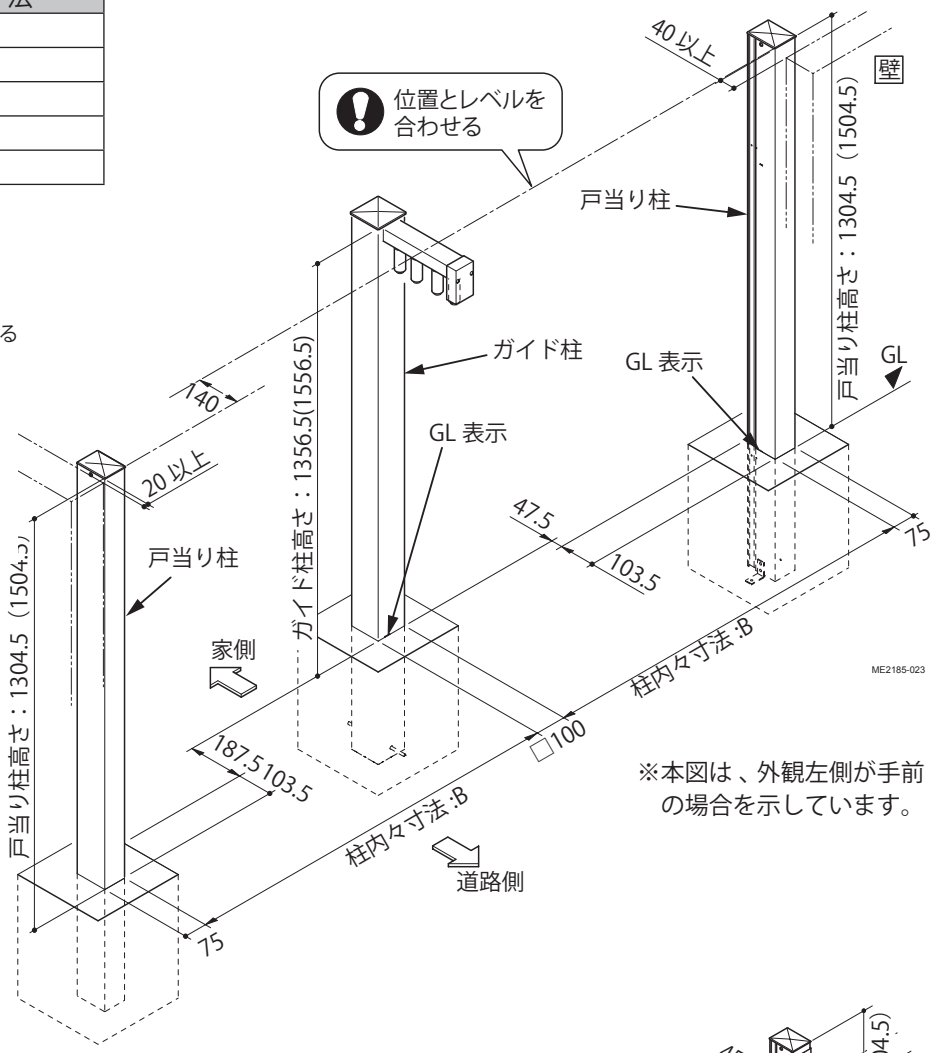
2－5 引き違いの場合

（mm）

DW: 引戸巾	B: 柱内々寸法
1500	1317
2009	1826
2409	2226
2918	2735
3518	3335

●設置寸法図





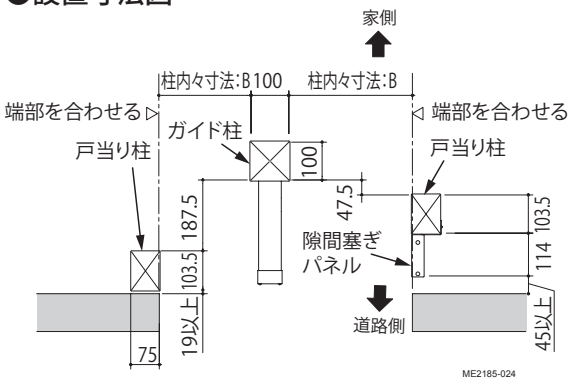
※本図は、外観左側が手前の場合を示しています。

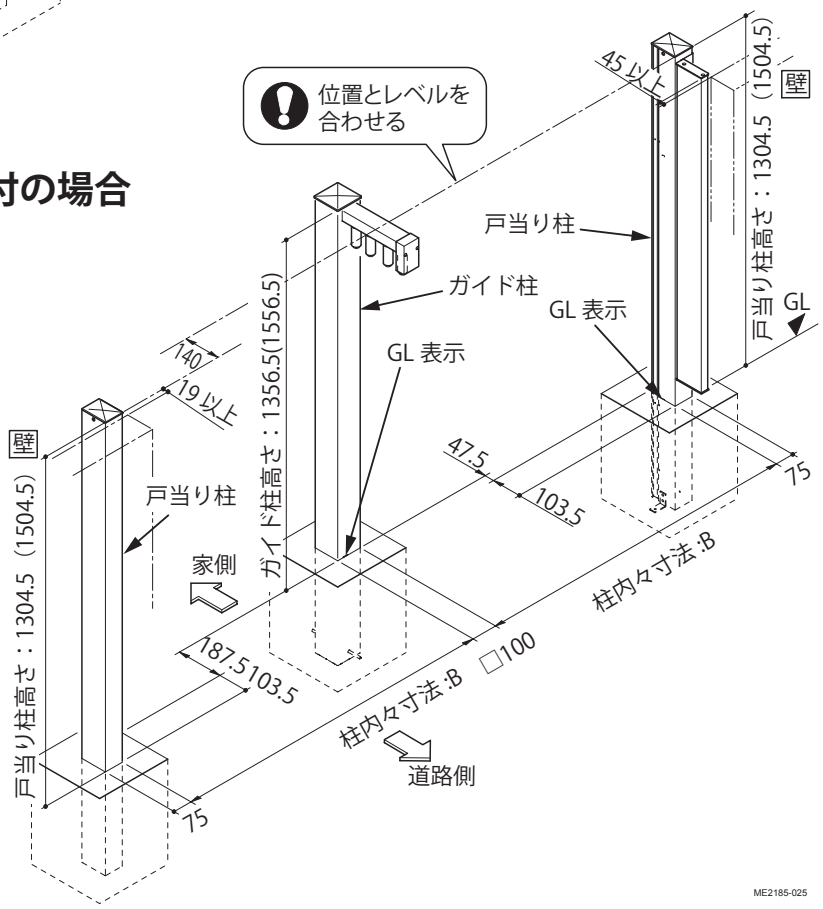
2－6 引き違い 隙間隠しパネル付の場合

（mm）

DW: 引戸巾	B: 柱内々寸法
1500	1317
2009	1826
2409	2226
2918	2735
3518	3335

●設置寸法図





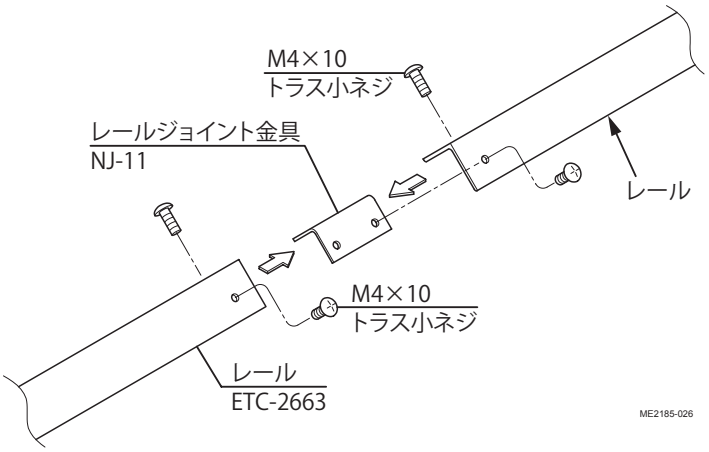
3 柱・レールの設置

●「納まり図」と「納まり寸法表」を参照し、必要なレールの長さを確認してください。
●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

3－1 レールの連結

レールを連結する場合に作業を行ってください。

① 2 本のレールをレールジョイント金具で連結してください。

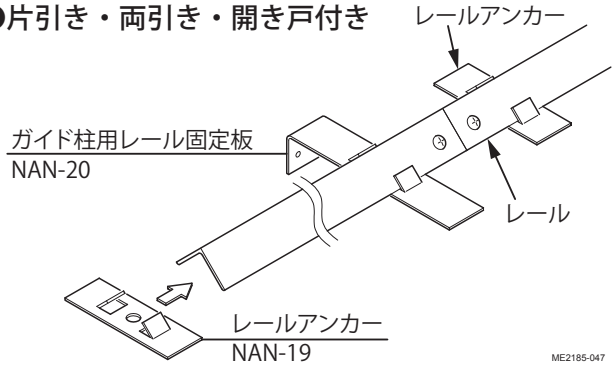


3－2 レールアンカー・ガイド柱用固定板の取付け

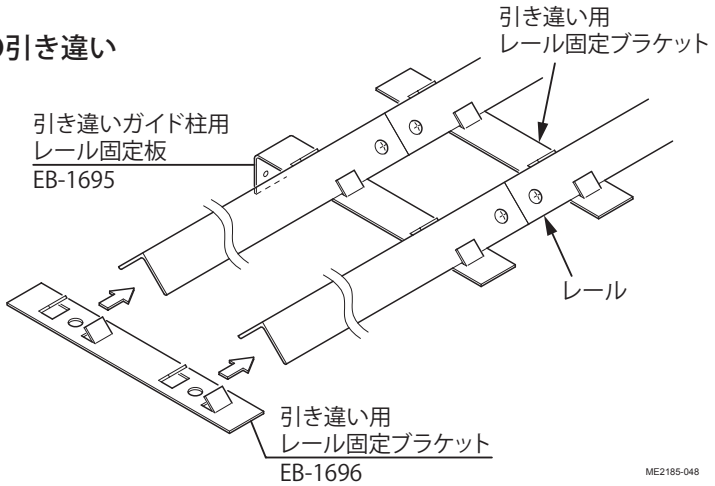
①レールアンカーおよびガイド柱用固定板を、レールに交互にスライドさせて取付けてください。

レールアンカーは、扉浮き止めストッパー⇔ガイド柱間に 1 つとなります。
※下記、「部品配置図」参照

●片引き・両引き・開き戸付き

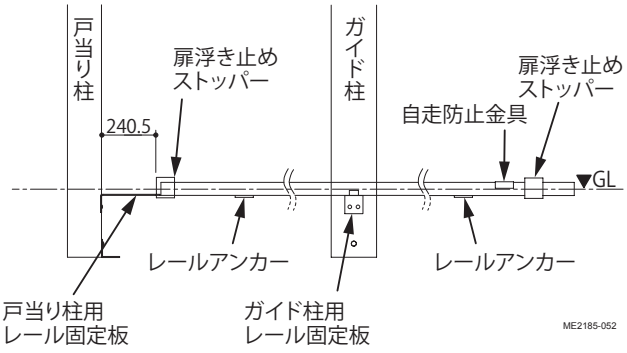


●引き違い

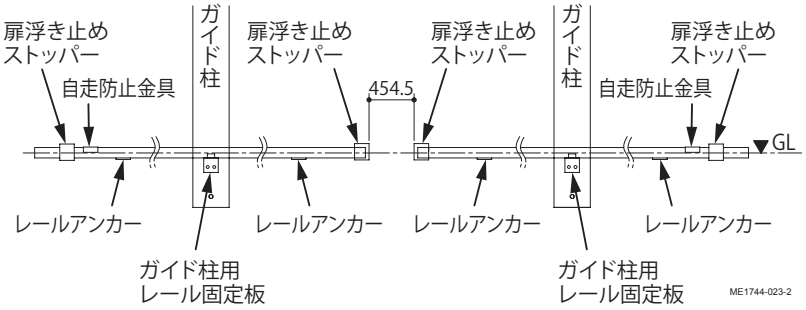


部品配置図

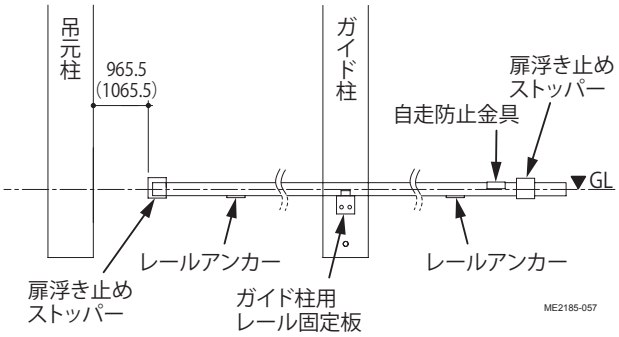
●片引き



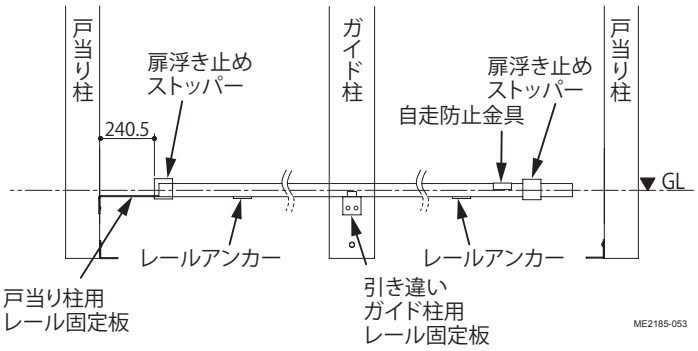
●両引き



●開き戸付き　※本図は、開き戸巾 700 の場合を示しています。
※ ( ) 内寸法は開き戸巾 800 の場合を示しています。



●引き違い　※本図は、片側のレールの部品配置を示しています。左右対称に 2 本のレールを配置してください。（詳細は 16 ページを参照）

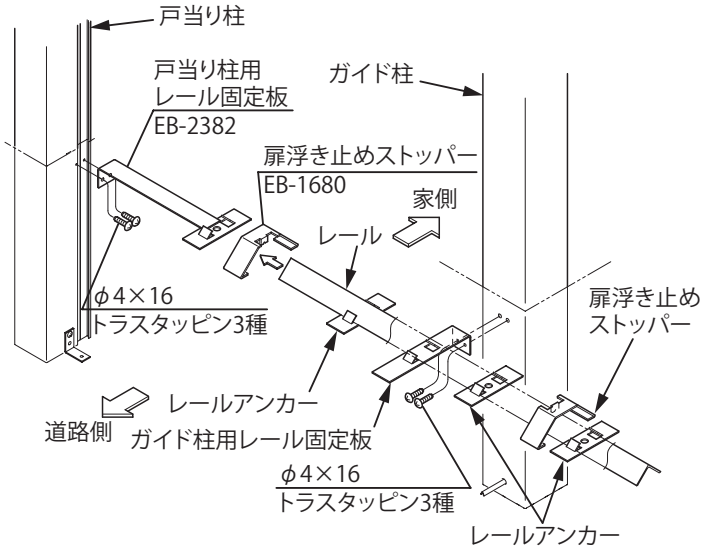


3－3 レールの取付け

レール端部には必ず扉浮き止めストッパーを取付けてください。
※取付けないと、引戸の脱輪および転倒の原因になります。

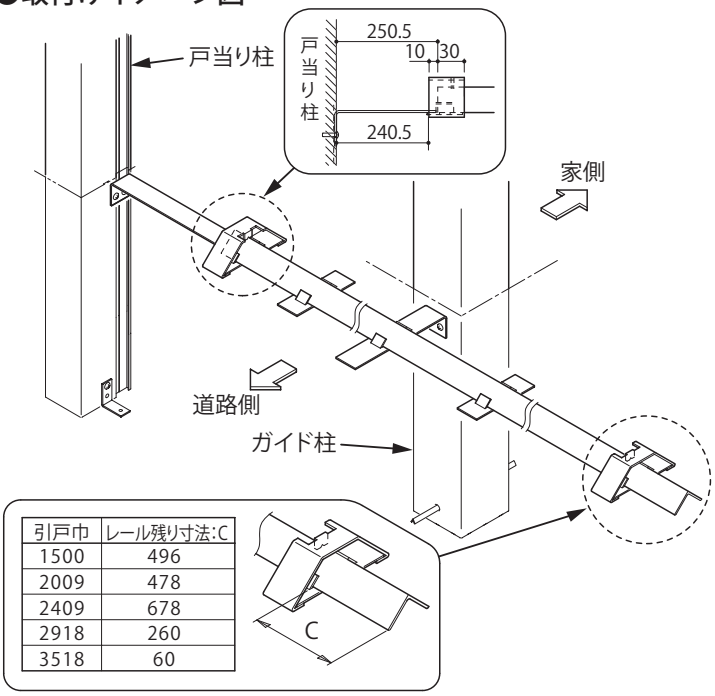
片引きの場合

①下図を参照して、レールを柱に取付けてください。



ME2185-027

●取付けイメージ図



引戸巾	レール残り寸法:C
1500	496
2009	478
2409	678
2918	260
3518	60

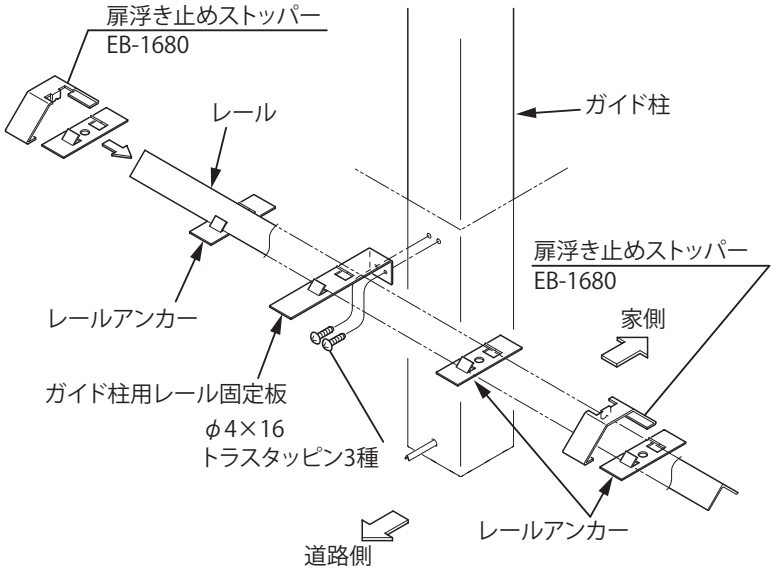
※レールの不要な部分は切断してください。
※扉浮き止めストッパーの取付位置は
3～4ページの「納まり図」で確認してください。

ME2185-028

両引き・開き戸付きの場合

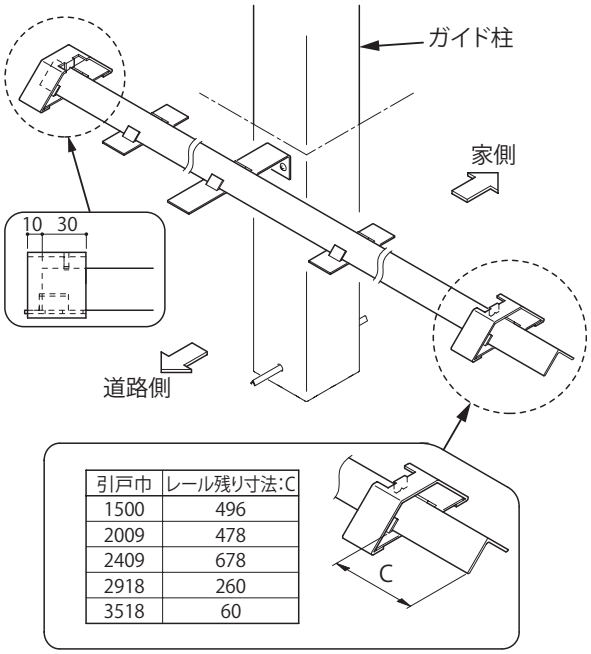
両引きの場合は、左右対称で取付けてください。

①下図を参照して、レールを柱に取付けてください。



ME2185-029

●取付けイメージ図



引戸巾	レール残り寸法:C
1500	496
2009	478
2409	678
2918	260
3518	60

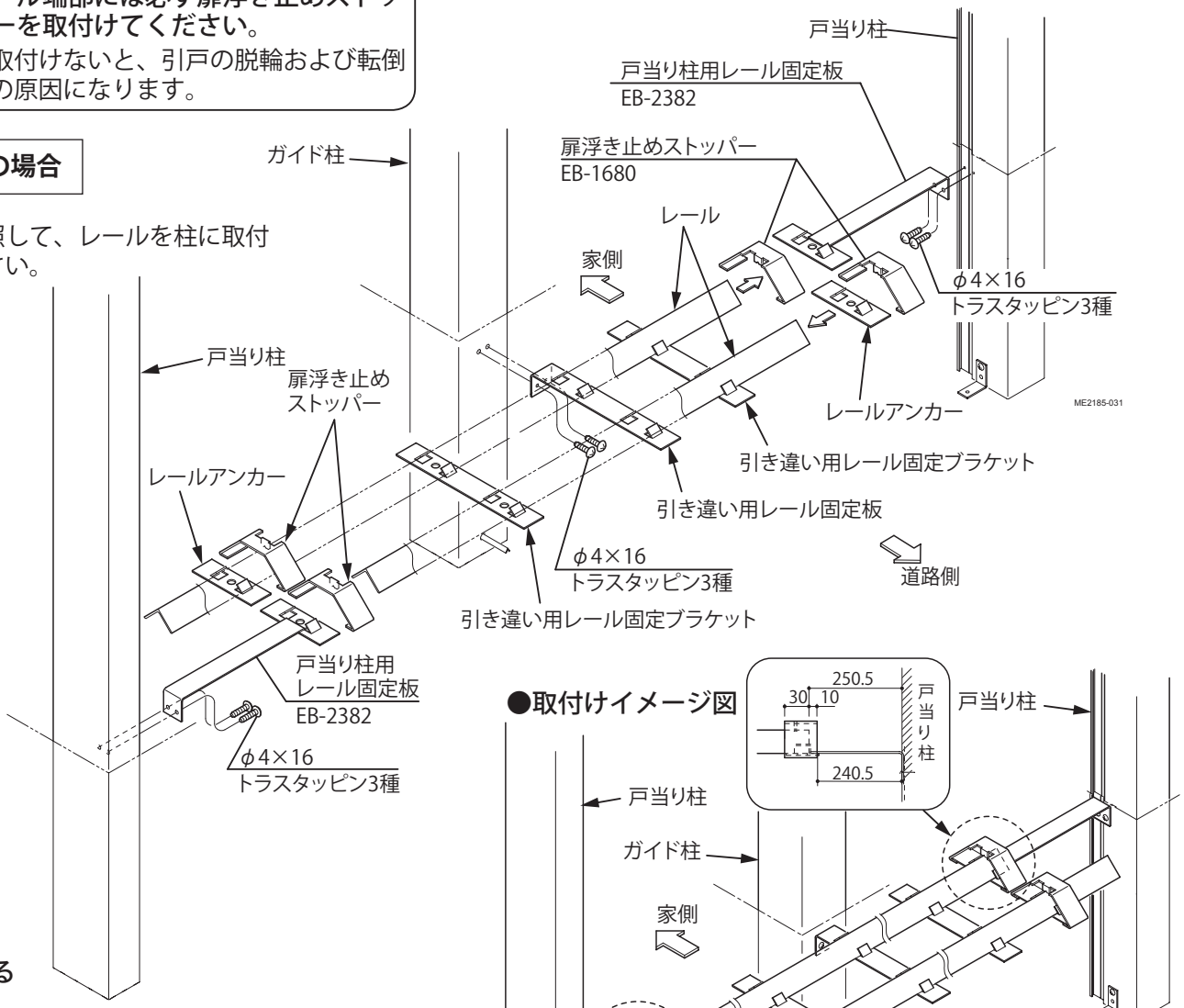
※レールの不要な部分は切断してください。
※扉浮き止めストッパーの取付位置は
5～6ページの「納まり図」で確認してください。

ME2185-030

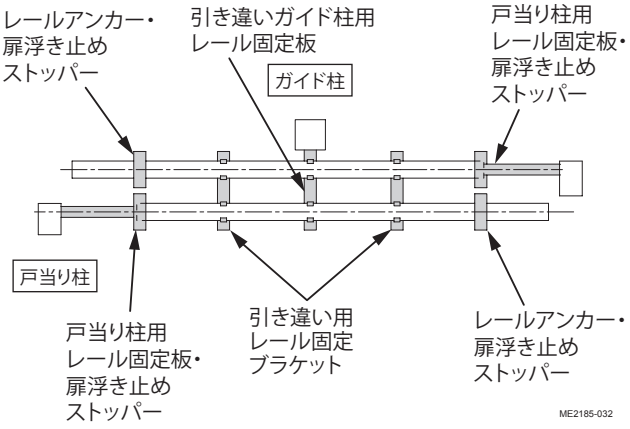
レール端部には必ず扉浮き止めストッパーを取付けてください。
※取付けないと、引戸の脱輪および転倒の原因になります。

引き違いの場合

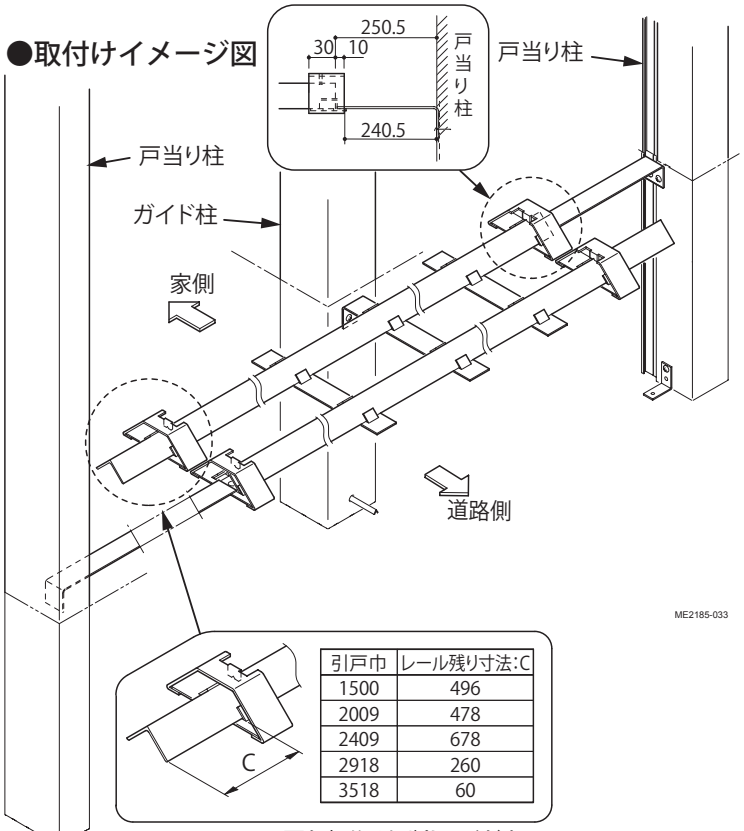
①下図を参照して、レールを柱に取付けてください。



●上から見る



●取付けイメージ図



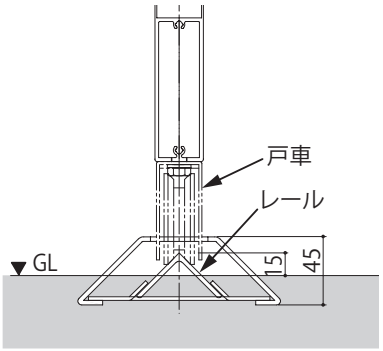
引戸巾	レール残り寸法:C
1500	496
2009	478
2409	678
2918	260
3518	60

※レールの不要な部分は切断してください。
※扉浮き止めストッパーの取付位置は7～8ページの「納まり図」で確認してください。

3－4 柱・レールの埋込み

①水糸または水準器で、水平レベルを合わせてください。
② GL 面より 15mm レール頭が出るように、柱およびレールを埋込んでください。

柱の埋込み時には、「2. 柱の設置位置の確認」を参照し、寸法を正確に合わせてください。
※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。



4 引戸部品の取付け

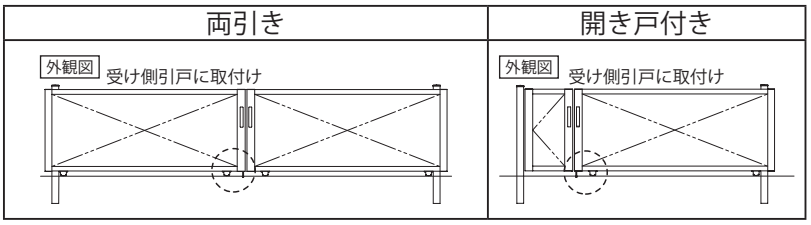
●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

4－1 落し錠の取付け（※両引き・開き戸付きの場合）

①戸当りと同梱の「落し錠セット」内の施工説明書 [ME-1156] を参照して、落し錠を引戸（受け側）に取付けてください。

参照説明書
・「形材門扉 落し錠」 施工説明書 [ME-1156]

●落し錠取付位置



4－2 縦框キャップ（下部）の取付け

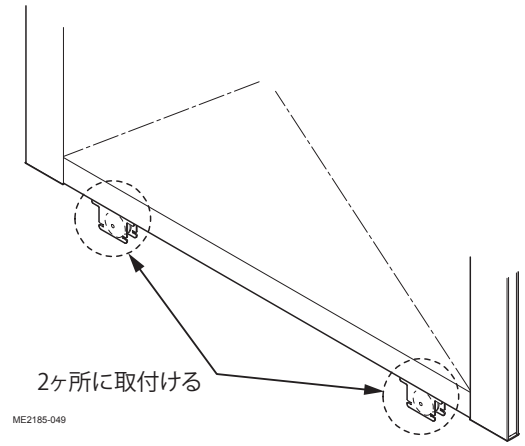
①引戸または開き戸に同梱の「縦框キャップセット」内の施工説明書 [ME-2151] を参照して、縦框キャップを引戸に取付けてください。

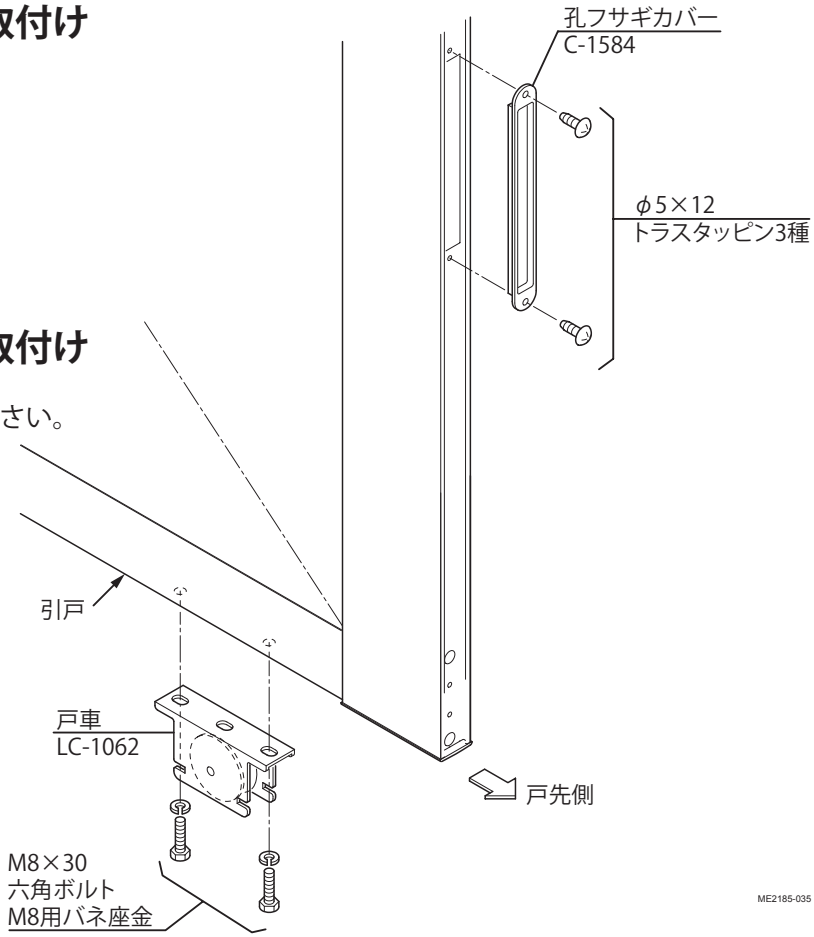
参照説明書
・「縦框キャップ」 施工説明書 [ME-2151]

4－3 戸車・孔フサギカバーの取付け

①戸車および孔フサギカバーを引戸に取付けてください。

●戸車の取付位置

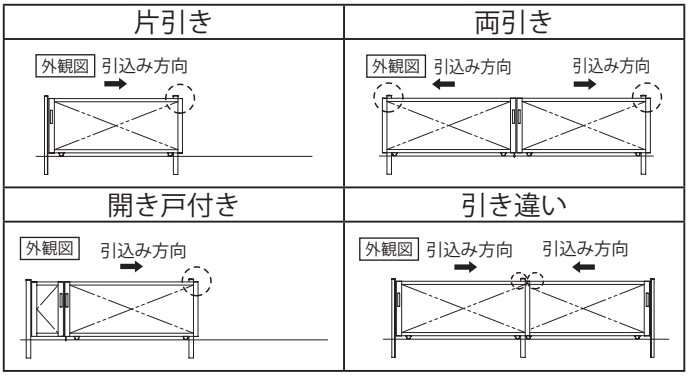


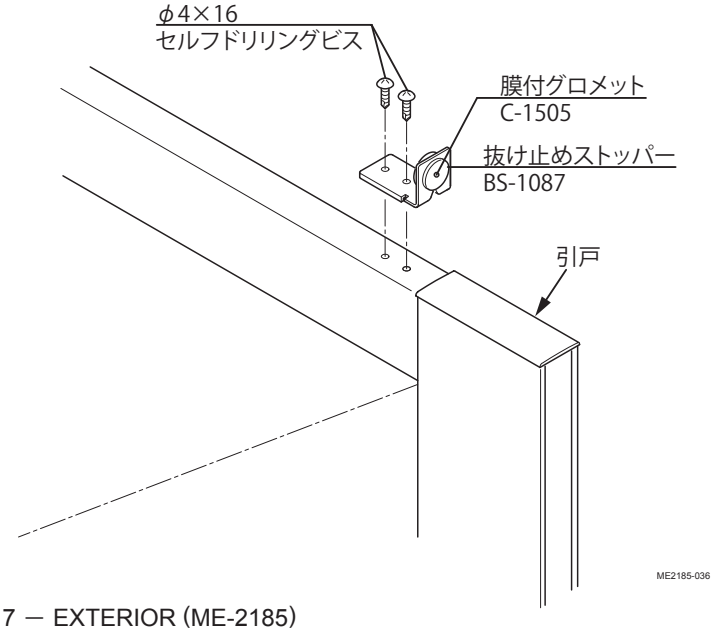


4－4 抜け止めストッパーの取付け

①抜け止めストッパーを引戸（引き込み側）の上枠に取付けてください。

●抜け止めストッパー取付位置



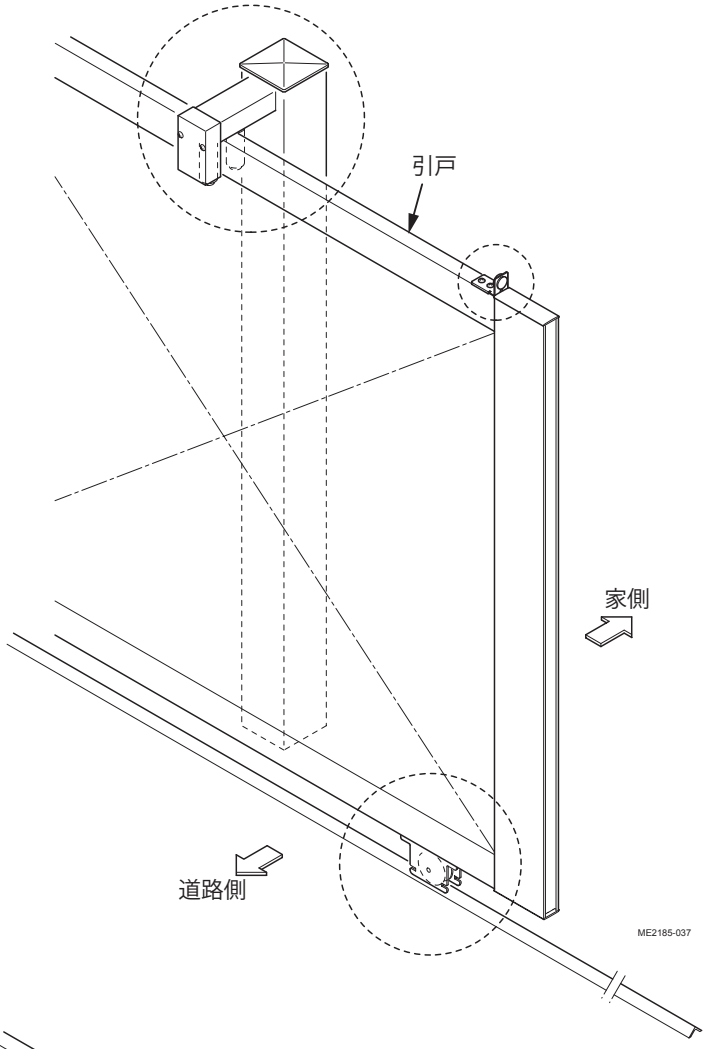


5 引戸・開き戸の設置

●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。
※「内観図」と指示のある場合を除きます。

5－1 引戸の設置

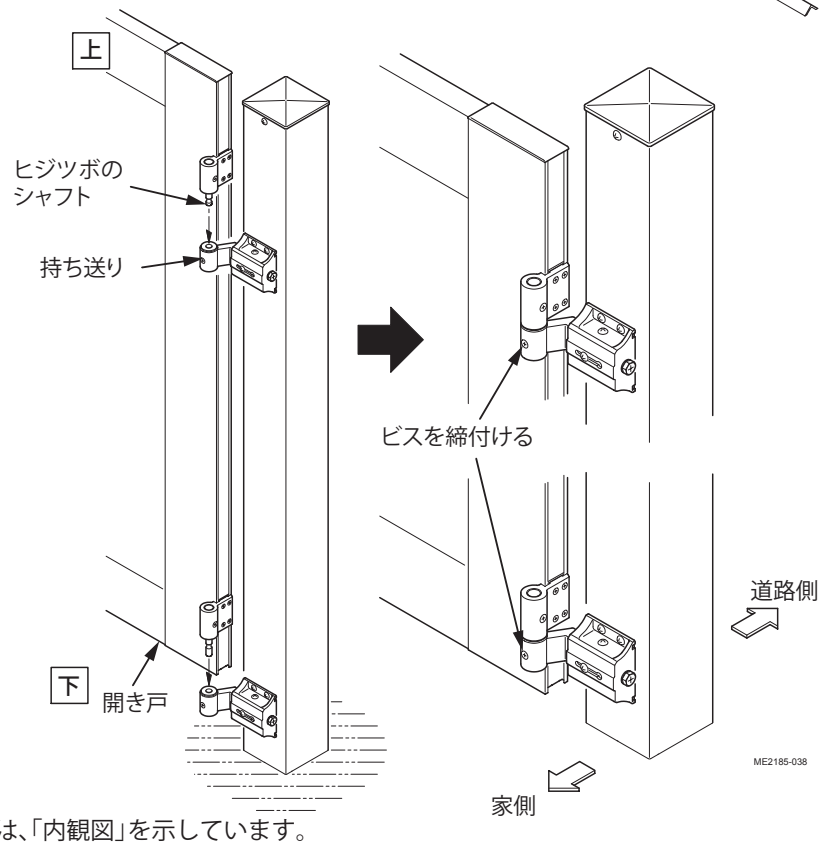
①引戸をガイドローラではさみ、戸車をレールに載せてください。



5－2 開き戸の設置（※開き戸付きの場合）

①吊元柱と同梱の「ヒンジセット」内の施工説明書 [ME-2135] を参照して、開き戸を吊元柱に吊込んでください。

☞	参照説明書 ・「形材門扉用門柱 片開き用」 施工説明書 [ME-2135]



※本図は、「内観図」を示しています。

6 引戸取付後の作業と調整

●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。
※「内観図」と指示のある場合を除きます。

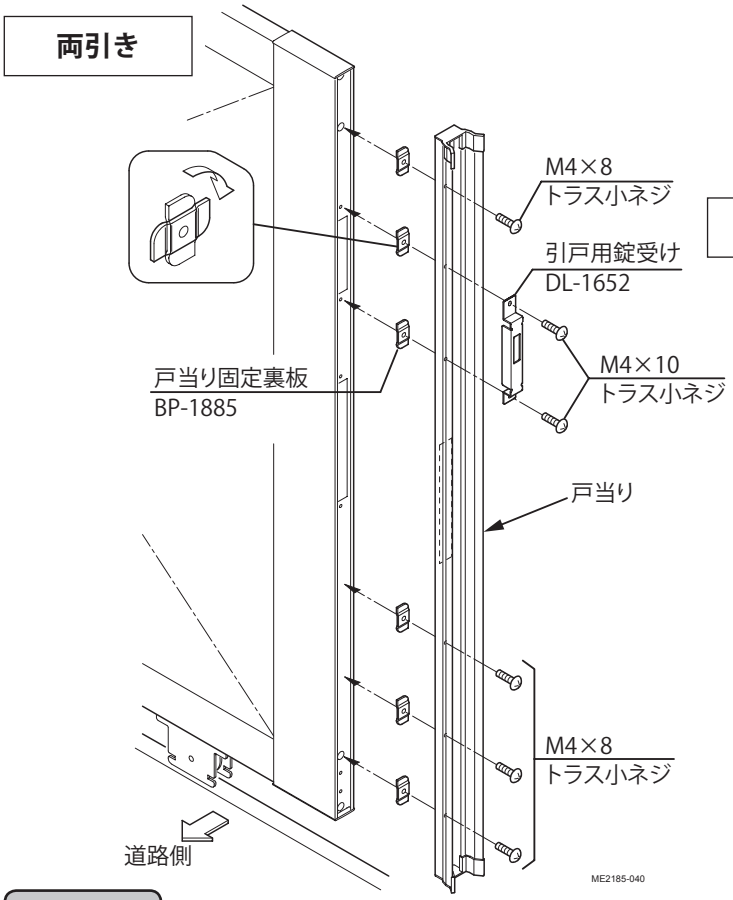
6－1 戸当り・錠受けの取付け

引戸錠 HA 型の施工説明書 [ME-1746] を合わせて参照してください。

①戸当りキャップを戸当りに取付けてください。
②戸当りと錠受けを取付けてください。

●取付位置

片引き	両引き
外観図 戸当り柱に取付け	外観図 受け側引戸に取付け 受け側 掛け側
開き戸付き	**引き違い**
外観図 引戸に取付け 開き戸（掛け側） 引戸（受け側）	外観図 戸当り柱に取付け 戸当り柱に取付け

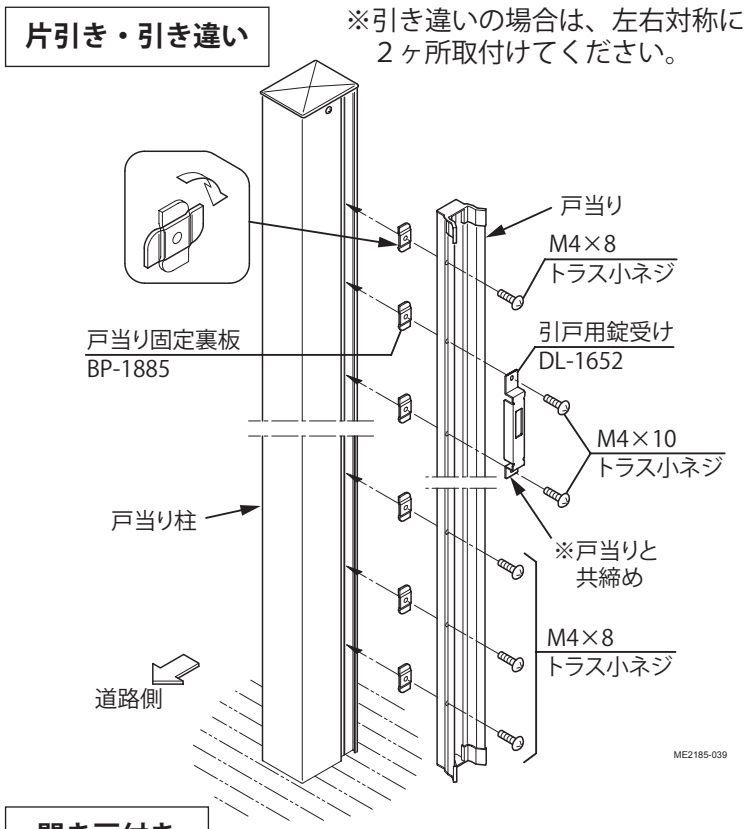


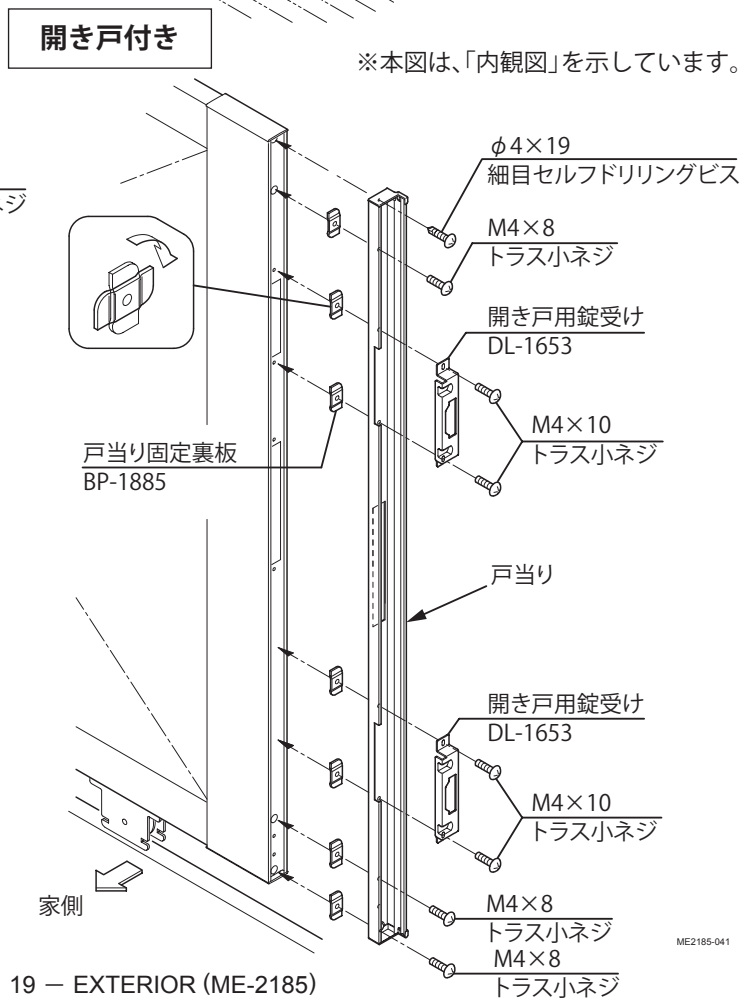
6－2 錠の取付け

①「引戸錠 HA 型」と同梱の施工説明書 [ME-1746] を参照して、錠を取付けてください。

参照説明書
・「引戸錠 HA 型」施工説明書 [ME-1746]

オプション品の隙間隠しパネルを取付ける場合は「隙間隠しパネル」の施工説明書［ME-2187] を参照してください。

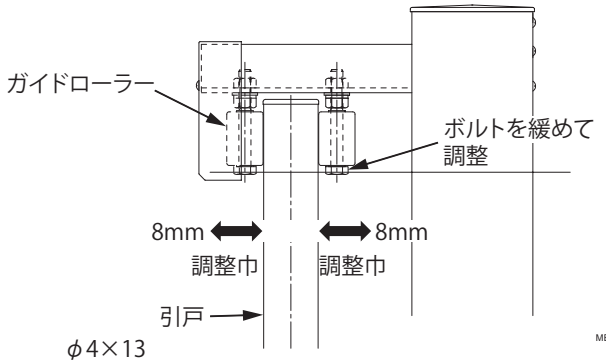




6－3 ガイドローラーの調整

①ガイドローラー下部のボルトを緩め、引戸とガイドローラーの位置を調整してください。

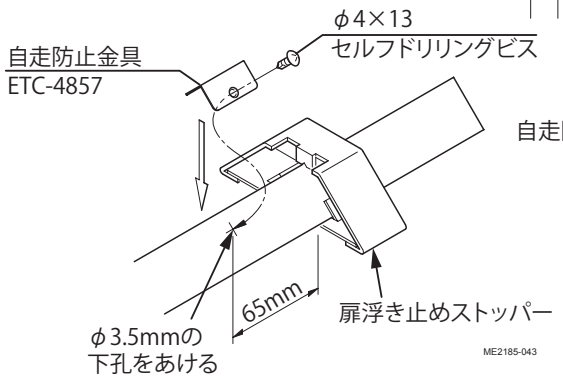
調整後、ボルトを確実に締め付け、固定してください。

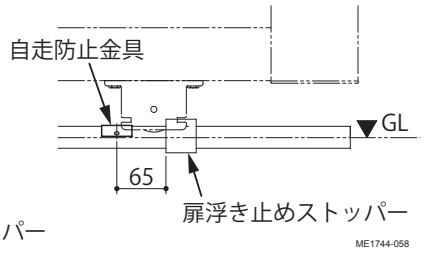


6－4 自走防止金具の取付け

①「納まり図」を参照し、取付位置を確認してください。
②自走防止金具をレールに取付けてください。

必ず所定の位置に自走防止金具を取付けてください。
※取付けないと、全開時に風による自走の原因となります。

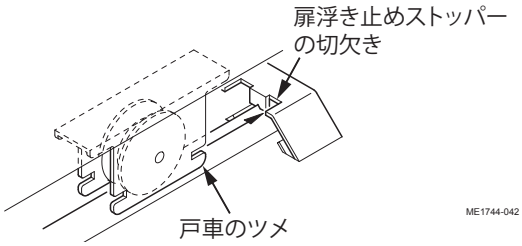




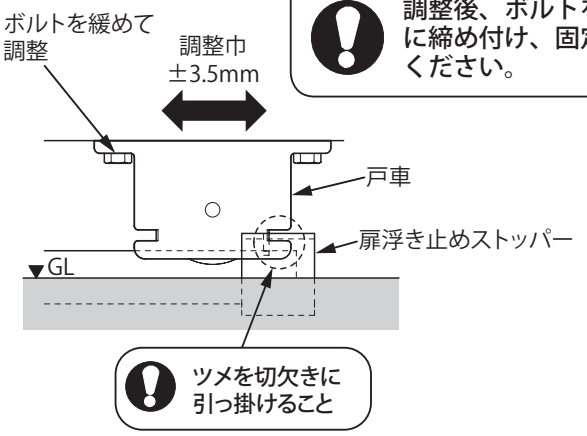
6－5 戸車と扉浮き止めストッパーの調整

①戸車の調整ボルトを緩め、戸車の位置を調整してください。

戸車のツメを扉浮き止めストッパーの切欠きに引っ掛け、引戸が持ち上がらないことを確認してください。

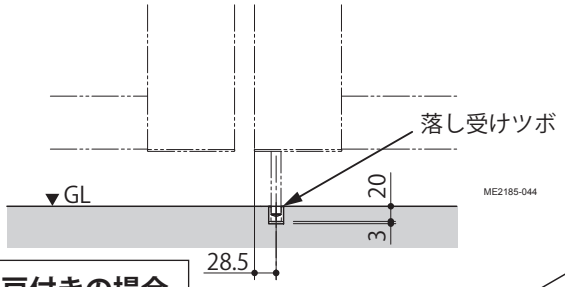


調整後、ボルトを確実に締め付け、固定してください。



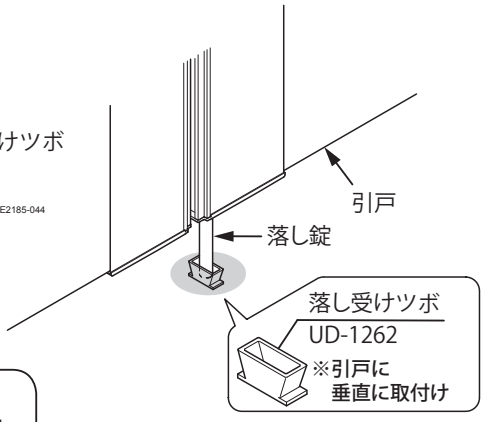
6－6 落し受けツボの埋込み（※両引き・開き戸付きの場合）

①引戸の落し棒に合わせて、落し受けツボを埋込んでください。

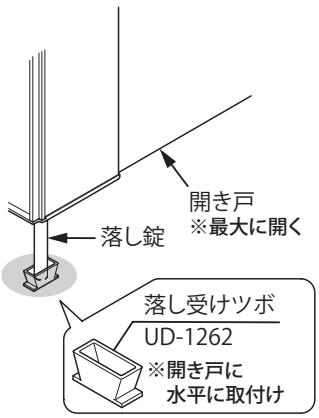


開き戸付きの場合

●引戸下部への埋込み



●開き戸下部への埋込み



開き戸付きの場合は、落し受けツボを引戸下部と開き戸下部の 2 ヶ所に埋込んでください。

①開き戸を最大に開き、開き戸の落し棒に合わせて、落し受けツボ（開き戸に同梱）を埋込んでください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。